

財団法人日本タイ協會々報

第四十號

昭和十九年六月

昭和十九年六月

財團  
日本タイ協會々報  
第四十號

財團  
日本タイ協會



次目號十四第報々會協イタ本日 財人團

泰國新聞界の現状と發達經路：今井 泰三：一  
 新泰領マライ四州の發展：カンチャナナーク：二  
 強化された泰の經濟統制：本協會調査部：三  
 タイ國政治組織並に重要職員：三  
 泰國事情：三  
 〔政治・軍事〕 行政刷新委員會設立△科學委員會組織△家屋擬裝法制定△官吏實業界入り禁止△私利者嚴罰布告△新政府街建設計畫進捗△少年警察隊員養成△盤谷市管區外に立つ△盤谷市會二法案通過△盤谷防空警察法強化△ビーン首相の對滿祝電△ビーン首相の對印祝電△工業副大臣辭任△軍防空移管△ユワチョン國軍歸屬△婦人軍隊最初の編制△泰國軍偵察隊交戦△敵機旅客列車銃撃  
 〔財政・經濟〕 政府經濟政策大綱闡明△本年度總豫算細目△兩省の市況共同調査△商業省の市價調整△馬來四州物々交換廢止△政府貯蓄銀行事業好況△馬四育成特別債券發行△煙草値上げ△泰國銀行總益金△新會社登記  
 〔産業・交通〕 本年度タイ米豫想△灌溉事業進捗  
 △棉花栽培五ヶ年計畫△大紡績工場新設△莫大小工業企業△煙草増産計畫△養魚管理委員會組織△タイ漁業會社設立△タイヤー工場新設△三鞭酒の新醸造△泰電氣會社業績△鹽業移民團好調△新農業移民團△自營移民團成功△馬車時代の再來  
 〔文教・社會〕 戰時國民訓布告△ウイラム宣傳△文化宣傳員養成△新首都定礎式△國家安泰祈願△文化協定記念論文發表△文盲百萬人を減ず△東亞醫學大會代表△兩大學支校増設△チヌ大學卒業生内譚△醫大卒業生資格授與△食料貯藏勸奨△戰爭遺兒委員會設立△戰爭遺兒教育方針△遺兒學校完成近し△戰時救恤資金累計△結婚促進策成功△華僑タイ服制に従ふ△民刑事事件減少△阿片吸飲者著減△タイ研究協會年次總會  
 〔日泰關係〕 坪上駐タイ大使歸朝△兩國大使増上寺參詣△大東亞醫學者大會△大義神社建立  
 協會記事：三  
 大阪日泰協會記事：三  
 財團法人日本タイ協會總裁及役員職員：三

泰國新聞界の現状と其の發達經路

五月十七日同國第二回新聞日に因んで

今井 泰三

タイ國の全新聞及び新聞人を網羅するタイ國新聞協會では、ビーン首相及宣傳局後援の下に、昨年初めて「新聞日」を創定毎年五月十七日をこの日と定めて、盛大なる祝典を舉行することにし、昨年同日すでにその第一回は了つた。今年は第二回目で、本稿の執筆は尙ほその事前でこれが狀況を記すべくもないが、昨年の初回より萬端一層充實して、過去を講はくと同時に、新聞示威に充分の成果を擧げることが想像し得る。

五月十七日が「新聞日」に選ばれた理由は、その日がタイ人によつて初めて創刊された政府發行の官報の復興的誕生日に當るゆゑである。

タイ國に新聞といふものが生れてから、今日の發達を見るまでには、約百年近い年月を要した。これは、徳川時代の互版などとは別として我國の近代新聞發達に比較すれば、稍や長い期間である。

いまこの機會に、タイの「新聞日」の由來を明らかにすると共に、これを機會に同國の新聞發達史を諸文獻によつて紹介し且つ現在における新聞界の實情を記述して、タイ研究者の參考に資したいと思ふ。

これに就ては同國宣傳局長兼放送部報道課長ナイ・サング・パタノタイ氏が昨年「タイ新聞の回顧」の題下に執筆した一文が、新聞發達經路の概要を知る上において最も適當と思はれるので、まづ最初にこれを紹介しよう。左に掲げるものが即ちそれで、原文は英文である。

タイ新聞の回顧

「新聞紙」なる語を用ひる時、普通一般には日刊紙と解されるが、法律の認むるところによれば、日刊は素より週刊、隔週刊月刊、不定期刊の各刊行物を通じて皆新聞紙として扱はれてゐる。

次目號十四第報々會協イタ本日 財人團

泰國新聞界の現状と發達経路：今井 泰三……一  
 新泰領マライ四州の發展：カンチャナナーク……二  
 強化された泰の經濟統制……本協會調査部……三  
 タイ國政治組織並に重要職員………三  
 泰國事情………三  
 〔政治・軍事〕 行政刷新委員會設立△科學委員會  
 組織△家屋建築法制定△官吏實業界入り禁止△私  
 利者嚴罰布告△新政府街建設計畫進捗△少年警察  
 隊員養成△盤谷市管區外に立つ△盤谷市會二法案  
 通過△曼谷防空警察法強化△ビーン首相の對清祝  
 電△ビーン首相の對印祝電△工業副大臣辭任△軍  
 防空移管△ユワチオン國警廳屬△婦人軍隊最初の  
 編制△泰國軍偵察隊交戦△敵機旅客列車銃撃  
 〔財政・經濟〕 政府經濟政策大綱闡明△本年度總  
 豫算細目△兩省の市況共同調査△商業省の市價調  
 整△馬來四州物々交換廢止△政府貯蓄銀行事業好  
 況△馬四育成特別債券發行△煙草値上げ△泰國銀  
 行純益金△新會社登記  
 〔産業・交通〕 本年度タイ米豫想△灌溉事業進捗

△棉花栽培五ヶ年計畫△大紡績工場新設△英大小  
 工業企業△煙草増産計畫△養魚管理委員會組織△  
 タイ漁業會社設立△タイセー工場新設△三鞭酒の  
 新醸造△泰電氣會社業績△暹羅移民團好調△新興  
 業移民團△自營移民團成功△馬車時代の再來  
 〔文教・社會〕 戰時國民訓布告△ウイラタム宣傳  
 △文化宣傳員養成△新首都定礎式△國家安泰祈願  
 △文化協定記念論文發表△文盲百萬人を減ず△東  
 亞醫學大會代表△兩大學支援増設△テヌ大學卒業  
 生内閣△醫大卒業生資格授與△食料貯藏勸奨△職  
 業進見委員會設立△職争遣見教育方針△暹兒學校  
 完成近し△職時救恤資金累計△結婚促進策成功△  
 華僑タイ服制に従ふ△民刑事事件減少△阿片吸飲  
 者著減△タイ研究協會年次總會  
 〔日泰關係〕 坪上駐タイ大使歸朝△兩國大使壇上  
 寺參詣△大東亞醫學者大會△大義社社建立  
 協會記事………三  
 大阪日泰協會記事………三  
 財團法人日本タイ協會總裁及役員職員………三

泰國新聞界の現状と其の發達経路

——五月十七日同國第二回新聞日に因んで——

今 井 泰 三

タイ國の全新聞及び新聞人を網羅するタイ國新聞協會では、  
 ビーン首相及宣傳局後援の下に、昨年初めて「新聞日」を創定  
 毎年五月十七日をこの日と定めて、盛大なる祝典を舉行するこ  
 とに決し、昨年同日すでにその第一回は了つた。今年は第二回  
 目で、本稿の執筆は尙ほその事前でこれが状況を記すべくもな  
 いが、昨年の初回より萬端一層充實して、過去を壽はくと同時  
 に、新聞示威に充分の成果を擧げることが想像し得る。  
 五月十七日が「新聞日」に選ばれた理由は、その日がタイ人  
 によつて初めて創刊された政府發行の官報の復興の誕生日に當  
 るゆゑである。

タイ國に新聞といふものが生れてから、今日の發達を見るま  
 では、約百年近い年月を要した。これは、徳川時代の互版な  
 どは別として我國の近代新聞發達に比較すれば、稍や長い期間  
 である。

いまこの機會に、タイの「新聞日」の由來を明らかにすると  
 共に、これを機會に同國の新聞發達史を諸文獻によつて紹介し  
 且つ現在における新聞界の實情を記述して、タイ研究者の參考  
 に資したいと思ふ。  
 これに就ては同國宣傳局長兼放送部報道課長ナイ・サ  
 ング・パタノタイ氏が昨年「タイ新聞の回顧」の題下に執筆し  
 た一文が、新聞發達経路の概要を知る上において最も適當と思  
 はれるので、まづ最初にこれを紹介しよう。左に掲げるものが  
 即ちそれで、原文は英文である。

タイ新聞の回顧

「新聞紙」なる語を用ひる時、普通一般には日刊紙と解される  
 が、法律の認むるところによれば、日刊は素より週刊、隔週刊  
 月刊、不定期刊の各刊行物を通じて皆新聞紙として扱はれて

る。これが一にはタイ新聞協会のタイ政府の官報の創刊日を全タイ新聞の記念日として選んだ理由であることは疑ひない。またブラドレイ博士刊行の「バーンコークの記録者」(Bankok Recorder)には「新聞紙」を定義して「年代記的公刊物」(a chronological publication)としてゐるが、これによつて、新聞紙の根本義が何であるかの概念が把握できる。

タイ族が支那から移動した時代の昔に遡る必要もないし、またその頃新聞があつたか否かを詮索する必要もないが、近代印刷術が起つた時を以て境界線とすれば、抑々タイに近代印刷術が初めて輸入されたのは、約百七十年前アメリカ宣教師によるもので、爾後タイ人の力によつて大發展を遂げた。佛曆二二七九年印刷による新聞が創刊されたのは、主として基督教の布教が目的ではあつたが、これがタイ人を刺戟して、刻苦よく他の文明國に比肩するだけの進歩發達を遂げたのである。その結果タイで印刷術並に新聞の父ともいふべきラーマ四世なるお方を生んだ。この時代宣教師達は、基督教の教へと宣傳を目的として宗教的小冊子を發行する一方新聞紙と名づくべきものをも發行配布してゐた。不幸にしてこれらの先導的役割をつとめた新聞紙が幾つあつたかを確かめる證據がないが、その一で佛曆二二八七年(西曆一八四四年)創刊になる「バーンコークレコーダー」だけは確實である。それは例へば電氣の如き近代知識を紹介する袖珍附録を有してゐた。宣教師によつて發行さ

れてゐた「バーンコーク・レコーダー」は永続的の基礎の上に立つてゐなかつたので、その後廢刊され、二十年を経てから、タイ文學の精通者ブラドレイ博士が同名の新聞を起した。博士は自分は前の「バーンコーク・レコーダー」と交渉をもつてゐた唯一人であると聲明した。

宣教師發行の宗教冊子と新聞紙の印刷は、ラーマ四世王陛下をして、冊子の代りに新聞を起して、佛教を宣傳することを思ひ立たせた。かくして陛下が新聞紙を創刊されたのはその治世第六年で、これがタイ新聞紙の濫觴となつた。

ラーマ四世王下の創刊したのは、「政府官報」(Government Gazette)であつて、今日まで尙ほその名を保持してゐる。陛下の發行された「政府官報」は佛曆二四〇一年(西曆一八五八年)三月十五日(一説には三月十六日)まで存続し通例聖日の内か緊急の問題がある時に發行された。隨つて發行は非常に不規則であつて、官報の内容を全部陛下御自身で編輯されるやうになつてから一年ほど経つて、御多忙のため休刊した。ラーマ四世王時代の「政府官報」が殆んど悉く散逸してしまつてゐるのは惜しいことである。ラーマ五世の時代に至り、王弟プラオン・チャオ・シサオワン殿下が二四三三年に、僅かに十九回分を蒐集されたに過ぎない。官報はその後再刊された。

「政府官報」創刊に當つて、ラーマ四世陛下が當初何ういふ御意向を有して居られたかを拜するためにタイの新聞を發行する

御趣意に關する御言葉を次に引用しよう。

(趣意書は本稿後節記載につき省略)

タイに於ける最初の新聞たる「政府官報」は、斯くも一國の元首として最高の御方の御手によつて發行されたといふ尊い歴史を有してゐるのであり、その目標も高く、國家の福利へ指向されてゐる。新聞最大の名譽は、一國の元首たる如此き最高の人物によつて最初に發行されたものを、繼承するといふ事實である。

昔の官報は新聞紙若しくはそれに近い形式を執つたもので、普通記事、政治記事、例へば出生、死亡、降雨記録、火事などを報道、政府の告示、陛下の隨筆、論評等を掲載したものである。ラーマ四世王の發行された官報の隨筆や評論を讀むと面白い。知識が擴まつたやうに感ずる。諸譯もあれば教訓もある。その實例の二、三を示さう。

陛下は言語學者であられたので、用語の正確を期する上に於て非常に嚴格であつた。隨つてその論評で、語法の正しからぬ者を非難された。一例を挙げれば、「死せる肉體」(a dead body)を表現するのに「屍體」(Carcase)の語を用ひるのが正しいと言はれた如きである。爾餘の言葉を使つてはならない。若し使ふ者があればその者の頭の毛が残らず抜け落ちるやうにと呪咀され、その反對に正しい語法を用ひる者があればこれを賞讃してその髪の毛がよく成長するやうにと祈られた。

二

陛下の隨筆には、今日讀んで實に面白いものがある。例へば告示の最後に「シ・サントン・ウオーハン」の署名があつたが、その署名の次に「このアラは夫人を恐れること猶ほ下僕が主人を恐れることとし。しかし彼が夫人の奴隷といふやつくことも有名で、夫人は彼を慈が出来るほど打擲し、遂に病床に横はしむ」と書かれてゐる。

ラーマ四世王發行の官報は、民衆に頒布はされたが、賣られはしなかつた。これは民衆と官吏とにこの新聞に興味を有たせようとの熱意を示すものである。陛下は既刊ものを検討して、これが改善を企てゝ居られた。

「政府官報」がラーマ四世時代休刊の間に、諸種の新聞が相次いで現れた。「バーンコーク・レコーダー」「サイアム・タイムス」「バーンコーク・プレス」「サイアム・ウエークリー・モニター」「バーンコーク・サンマリ」などの週間紙が何れも外國人經營で發行されたが、二年以上續いた新聞は一つもない。この時代にはまだ日刊新聞は出現しなかつた。

十五年後、ラーマ五世陛下が官廳報告、宮廷布告、各種の告示等政府の機關紙の必要を感ぜられて「政府官報」を復興し、印刷局をしてこれが發行に當らしめられた。

このラーマ五世によつて再刊された「政府官報」は、佛曆二四一七年(西曆一八七四年)五月十七日に初めて發刊されたので、毎年この日を記念して「新聞日」の式典を擧げることにな

三

つたのである。この官報は毎日曜日に発行されたが、前期のやうに民衆に頒布はされなかつた。購読豫約金は一年八バーツであつた。頒布しない理由の説明によれば、民衆は斯かる新聞の価値を認識しないからとある。官報は國內記事を掲載する一方外國記事をも掲載した。これは官報が當時の他新聞と競争する意圖を有してゐたことを明らかに示すものである。それらの新聞も亦外國記事を掲載してゐたからである。官報の大きさは他新聞と同じ大きさであつた。

この再刊官報は存続約五年間にして、佛曆二四二三年（西曆一八八〇年）終刊となつた。しかし官報発行の必要は益々増大する一方なので、同年九月八日、三度び発行されるに至つた。この新「政府官報」は著しくその相貌を變へた。版も縮小され前者のごとく週刊ではあつたが、日曜日発行ではなく、ラーマ四世の例に倣つて、各聖日毎に発行した。

この新装の官報は實に短命で、傳ふる所によれば、佛曆二四二四年三月八日（今日の曆法によると二四二五年となる）早くも終刊となつた。それが一年続いたといふことを聞かないが、しかしその後佛曆二四二六年四月十五日また再発行された。この度は版の大きさも以前に還つて擴大された。第六年版と稱したところは、明かに二四二三年終刊のものを繼承したものであることを明示して居り、日曜日の代りに各聖日に発行した。同紙は豫想された通り長い期間一向賣れず、二四二六年五月七日附

を最後として没落した。  
その後官報の斷絶約一年にしてまた發刊されたが初號において次のごとき告示が添附された。  
官報が休刊されてゐたのは、印刷局が他の印刷物に忙殺され官報發行に専念する暇がなかつた故である。しかし印刷局當局は爾餘これに再着手し、刊行の繼續を圖らんとするものである。

この告示は非常に豫言的であつた。何故ならば、この時以來官報は二、三の變改があつたが、中斷されたことはなかつたからである。今日までこの「政府官報」は、正確に日曜發行をつゞけて来た。但し二四二九年三月二十日（今日の曆法で二四三〇年）から二四三一年三月三十一日（今日の曆法で二四三二年）舊に歸るまで約一年間聖日發行を行つた例外がある。二四三二年四月四日發行まで何事もなかつたが、この時に至つて、版が變り、今日見る如き制規の大きさに改められて来た。二四八四年（一九四一年）毎火曜日發行に改められてからは、何等の改正も行はれなかつた。

佛曆二四二七年十二月二十八日發行のものは、同紙が最も油の乗つたことを示した最初のものであつた。ラーマ四世時代には日刊紙はなかつたことは既述したが、當時にあつては如何なる日刊紙が出来ても、讀者が數へるほどしかないやうでは、存続は至難である。週刊或ひは隔週刊さへも創刊は困難であつた

ラーマ五世時代に至つてタイで最初の日刊紙が現はれた。それは「バンコーク・デネリー・アドバタイザー」で、佛曆二四二一年（西曆一八六八年）創刊され、約一年にして廢刊となつた。これによつて「サイアム・デネリー・アドバタイザー」が創刊され、スマス博士が社主となつた。この新聞は十年も繼續したので、日刊新聞を創刊しても成功するといふ印象をタイ人に與へた。その結果、佛曆二四一八年（西曆一八七五年）九月一日最初のタイ人の新聞が創刊された。これは王族の或る重要人物が蔭で後援したもので、最初は「Cint」といふ名を附したが、後に「カオ・ラツチャヤカン」と改名した。これも僅かに二年しか續かなかつた。

ラーマ五世時代の四十三年間を通じて、合計五十四種の新聞が發行されたが結局残つたのは三種で、これは今日までその名を存してゐる。當時には新聞紙を取締る法律がなく、僅に著作権法があつたに過ぎなかつたが、これとてその後廢止になつた。

ラーマ六世時代の僅か十三年間に、多數の新聞が發出した。新聞紙の水準を上げるためには何うしてもこれが取締法令が必要になつて来たので、佛曆二四六五年（西曆一九二二年）一月三十日、タイで最初の新聞紙法が實施された。同法はラーマ七世時代、政變（立憲革命）の少し前に改正されたが、改正法は嚴重を極め、罰則も重くなつて、二四七〇年九月五日實施された。

政變（立憲革命）後三ヶ月、増補改正された新聞紙法が、佛曆二四七五年（西曆一九三二年）九月二十九日公布されたが、政府は改正の趣旨を發表して、新聞が正義に立脚し本分を守るに於ては、政府は悦んでその所論に聴き、且つこれを賞讃せんとするものであるとした。その後政府の立憲體制のもとに、二種の新聞紙法が制定されたが、その一は「佛曆二四七六年印刷法」であり、一は現行の「佛曆二四八四年印刷法」である。

私はタイの新聞發祥から新聞紙取締法の制定まで、順を追つて回顧記述したが、やゝ分外に書き過ぎた嫌ひないでもない。最後に一言したいことは、タイに於ける印刷術發達の八十五年間に六百種の新聞が起つたが、これらの新聞の平均壽命は僅に五十日に過ぎない。我々は今やタイの新聞雜誌史上に新時代を建設しつゝあるが、こゝに「サマキ・タイ」氏（全タイの意味で、ピアン首相を指す）の一語「われら働かり、ひたぶるに。さすれば、われら富み、國榮えん」を引用して巻を了らう。

右の一文の中尚ほタイ國官報「ラーツチャキ・チャイヌベータサー」がラーマ四世の手に於て最初に發刊された趣旨が概略記述されてゐるが、これは重複を避けて省略し、茲に改めてその創刊號の冒頭に掲げられた趣旨宣言の全文を左に譯載する。蓋しこの記事は一種の論文で新聞政策を論じ、新聞の存在意義を闡明してゐる上に、タイ人の手に成つた新聞の記事中そもく

の最初のものであつて、同國に於ける新聞經典とも稱すべきものであるからである。原文はタイ語で書かれたものであるが、これを英文に意譯されたものから、更に和文に重譯したものである。但し文中の段落、改行等はタイ語の原文に倣つたものと御承知ありたい。

ラーヅチャキ・チャーヌベークサは

本朝第八年午年第五月盈月の最初の日、シャムの元首によつて發せられたる幾個かの布告、命令告示である。故にこれを中央及び地方の各級の官吏並に一般庶民に知らしめ、衷心よりこれを遵奉して事に處し、且つ王命とその意志に違背するの行動に出でざらしめ、以て風評、誤解の蔓延を防止せんとするものである。

かるが故にシャム國王ブラ・チョン・クラオ王陛下は國家の安寧と秩序の維持を御希念あらせられ、且つ宮内局から各部局に送られる示達、又は中央に於て衆庶に知らしめるための市長への命令又は南部及北部の地方總督と地方廳に對する通牒、又は地方長官の手を通じてなされる各地方への布告、又は悪事を禁じ善事を勧める訓令又は現行法令、新稅、徵兵、徵稅などに對する注意書など要するに官吏、庶民を通じて知らしむべき王室命令が違背するを御憂慮あらせられるが、これらの王室命令は、従前は鉛筆で書かれて彼處此處に持ち運ばれ、時には誤寫され、その寫しさへも僅かしか作られな

いので、衆庶はそれを讀む機會非常に少く、爲めに王室の意志は一般に知れわたらなかつた。

斯くて國家上層部から出る命令は、その種別の如何を問はずその命令が一部の個人に對して直接又は緊急に傳達され、それだけで充分用を辦するもの以外は、官吏公衆に達せざらぬのであつた。ある地方の住民にあつては、文盲なるため、官廳から命令文書をもらつても、赤い封筒を受取つただけでもう恐れをなして、命令書を持つて来た使のいふことを、言ふがまゝに何でも信じやうとする。

如此きはやがて僞造、恐喝の因となり、また人民の尊敬する王族、國務大臣が氣紛れの命令や不正の命令を出して非難を受けることになるが、それは官民一般を苦しめ、國王の威名をも傷ける結果となり、同時に王族、貴族の不名譽ともなるのである。

よつて今般政府の命令を以つて、前記の如き不平を宥め、ラーヅチャキット・チャーヌベークサーなる新聞が發刊されて、國王陛下の御政務の通譯者となるであらう。されば本機關紙は王室より印綬を受け、その印として二個の大なるチャトラト四角形を用ひ、名も「ラーヅチャキット・チャーヌベークサー」と大文字で記し、黒インキで印刷する……

若し將來政府が何等かの危機又は問題に直面し、御前會議が

開かれるやうな場合に逢着したなら、本紙即ラーヅチャキット・チャーヌベークサは、詳細にこれを報道して、その全貌を知らしめこれに依つて國王並に政府に對する不信を招くが如き流言蜚語を削減するであらう。

今日ではタイ國唯一の日刊英字紙となつた「バンコック・クロニクル」は第一回新聞日當日「ジャーナリズムの世紀」と題してこれが論評を試みたが、これは一面には現下に於けるタイ新聞の論評態度を示唆する有力なる參考資料たると同時にタイの新聞發達経路と現状を知る補助資料ともなるので、これ亦左に録載する。

### ジャーナリズムの世紀

本日舉行されるタイ「新聞日」の式典は、タイのジャーナリズム史始まつて以來の稀有の盛事である。同時にこれは、新聞が情報傳達機關、輿論指導機關として新國家建設上絶大なる價値を有する存在として、公式に政府の承認と保證を得たことになるのである。何となれば「新聞日」の設定とその式典舉行が、タイ新聞の量質にわたる進歩發展を語るものであり、これに對してビボン首相が甚大な興味を寄せられたからである。

今日一般には、如何なる貧家と雖ども購讀されてゐるほど新聞の價値が認識されてゐるが、その創始時代については殆ん

どこれを知るものがない。故に初期の新聞が、當國ジャーナリズムの地圖なき海を行くごとく難航した時代から漸次發達していつた経路を回顧する。しかしタイの新聞史が他國に比して必ずしも特別長く、また特異のものであつたといふわけでないことを記憶すべきである。

タイで最初に發行された新聞は年齡にして、過般ビボン首相の情けで年金を附與された百二十八歳の老婦人より若いくらいであり、事實まだ百周年も迎へてゐない。やがて來るべき將來にその年の來るのが楽しみである。

アメリカの宣教師ブラドレイ博士が最初に發行した「バンコック・レコーダー」はタイ語と英語の兩國語を用ひた定期刊行物で二十三年間續いた。最初の政府機關紙は勿論「ラーヅチャキチャーヌベークサー」で、今では政府の官報として普く知られてゐる。その創刊は佛曆二四〇一年(西曆一八五八年)ラーマ四世王によるものである。王はそれまで手記によつてゐた政府の命令、告示がとかく傳達が後れ勝ちなのを速めるためと、時に受取人に到達しない場合もあるもので、これらの正確を期するため同紙を興されたのであつた。その後引續いて週刊新聞が興されたが、經營者の無能か資金の缺乏によつて、大部分は短命に終つた。この中には「サイアム・タイムス」「バンコック・プレス」「サイアム・ウエークリー・モニター」などがあるが、「サイアム・モニター」が幼児の壽命く

らる生き残つて四十八ヶ月続いた。

ラーマ五世時代までは教育がまだ普及してゐなかつたので、日刊新聞の成功は覺束なかつた。佛曆二四一一年(西曆一八六八年)「バーンコック・アドバタイザー」が、同二四三〇年「バーンコック・タイムス」(本紙はよく諸變動を乗り越えて西曆一九三〇年五十年記念祝典を挙げたが、同一九四二年九月大東亞戰爭勃發に續いて廢刊となつた)が、佛曆二四三六年「サイアム・オブザーバー」が、それ(「サイアム・オブザーバー」)の間また「ワーチラン」(サイアム・レポジトリ)「ダルノワード」のごときタイ人經營の諸週刊紙が發行されて長期開存續し、これに引續いて「ナンスト・ビム・タイ」(クルンテープ・デーリー・メール)「ドゥシット・サミット」のごとき人氣ある日刊紙が現はれた。右の内最後のものは國王陛下の所有で、他の新聞も輿論の指導者として重要な役割を果たしたこれらの偉大なる祖先から生れて、現在に於けるタイ國の新聞陣が出来上つたのであるが、二年前現存するタイ國新聞の總數二十であるのを、ビョン首相の先見によつて十紙に減縮された。首相は新聞の多過ぎるのは各自の財政基礎を弱め、新聞記者の俸給を低下せしめる結果となり、延いてはジャーナリズムの職責の尊嚴と、第四王國たる新聞の威嚴を損するの妖藥を養ふことなる點に想到されたのである。新聞社主と當局と協議の上で慎重淘汰の議が練られた。その結果残された

新聞は報道、社員能力、財政状態などを基礎として存續を認められるのである。

讀者諸君は現在バーンコックで發行されてゐる各種の新聞名に通じられてゐることであるから茲には贅しなないが、たゞ婦人達の手によつて編輯され、經營され、我がタイのジャーナリズムの一里程碑となつた「スパーブ・サトリ」の新鮮さと旺盛さには敬意を拂ひたい。我が「バーンコック・クロニクル」について申せば、本紙の創刊は西曆一九三六年五月十二日で、タイの國家的日刊新聞となり、且つ今ではバーンコックで發行される唯一の英字新聞である。輿論の指導、記事の正確については讀者諸君の最善の判断に委する。

われらは今日向上されたるタイ國新聞界の地位、即ち新聞に對する理解と新聞記者の待遇改善等に對してビョン首相が絶大なる關心を持たれたことを見通してはならない。首相は「タイ國新聞協會」の結成の基礎を築かれ、これが顧問に就任され、今日の記念式典の舉行を後援されたのみならず、政府首腦者によつて最初の試みであつた新聞記者招待會をその官舎で開催し、これによつて新聞人に公式の認定を與へられたのである。斯かる首相の親切心と厚意は、男女を問はず、激職に従ふ人々の肉體に激勵と靈感を與へ、公に奉じ、政府に協力せよ」の標語を採擇するに至つた。これは決して單なる阿諛を呈するの意圖ではなく、最後の決定的勝利を期して

政府を扶けて戦ひ抜かん願望を示したものである。

われらは又宣傳局、その局長パイロット・チャイナム氏並に局員諸賢に敬意を拂はんとするものである。宣傳局はバーンコックで印刷される新聞とは密接な關係がある。實際同局の新聞行政は今日新聞に印刷される言葉々々が國家及國民を守護すべく絶對重要になつた時期において、その運用は親切であり、就中評論に對して然りであつた。新聞と宣傳局との關係は、意志の疏通と協力の上に基礎を置かれた衷心からのものであつた。ナイ・パイロット・チャイナム氏は新聞に對する同局の職責をよく認識された結果、新聞界の好評と尊敬を受けられた。故にタイにおいて最初の「新聞日」を迎へるに當り、我々は心からなる感謝を、先づ我々を扶けて今日あらしめたビョン首相閣下と、次にあらゆる時と場合に處してタイ新聞界のために最善を盡されたる宣傳局長並に局員諸賢に對して捧げんと欲するものである。

最後にわれらは新聞の集團的利益と會員の個人的利益の援護を目的として行はれた「タイ國新聞協會」結成により國內ジャーナリズム確立の恩恵について一言したい。同協會の財政的基礎は、ビョン首相並に政府の理解ある援助によつて著しく強化され、同時にナイ・プリチャマサート・パンヤラチエーン氏を委員長とする強力なる委員會によつて多方面にわたり活動が行はれる。同委員長は國內新聞記者間に好評なる

とこれを統率すべき禮讓と指揮を誤らなかつた故に、委員長に二回當選した人である。協會は彼の統率下に榮え、新聞と新聞記者の向上に對して托された使命を果しつゝある。

### 現在の新聞分野

「バーンコック・クロニクル」は、右に於て「讀者諸君は……各種の新聞名に通じて居られるから」として、現在發行のタイ紙の舉示を省略したが、整理後のタイ紙については、我々の最も知らんと欲するところである。依つて左にその概要を、最近の資料に基いて記述することとする。

新聞整理後タイに於て現在發行を許されてゐる新聞は十四種である。今それらの新聞名と所有者、主筆を列記すると、左の通りである。

#### ▽シークルン

所有者 マニット・ワスワット  
主筆 警察少尉サムバン・カンタチャワナ  
主筆代理 (主筆應召中に付代理を置く)  
ヴァイラート・プラナシンビン

#### ▽タイラート

所有者 マニット・ワスワット  
主筆 ヴァイラート・プーラナンシンビン

#### ▽プラチャヤーチャート



所有者 アラチャーチャート株式会社  
主 筆 サマイ・ルアングライ

▽アラチャーミット

所有者 タイ・ウイワット  
主 筆 マライ・チュービニット

▽アラームアーンワン

所有者 モムチャオ・ボンピモン・ラッチャーニー、  
プリンセス・ボーピモン

主 筆 チャルーム・ウツティユシット

▽ニコン

所有者 タイ・バーニツチャカーン  
主 筆 プロウト・ブツテイナン

▽カオパー

所有者 カオパー株式会社

主 筆 ウィチャン・タイムルンウエート

▽スワンナブーム

所有者兼主筆 サニット・シルンラット

▽タイマイ

所有者 タイマイ株式会社

主 筆 ヴオン・ヌツチャシー

▽スパープ・サットリ

一〇

所有者兼主筆 ナン・シー・プラバイサン

▽バーンコーク・クロニクル

所有者 タイ・バーニツチャカーン

代 表 プリチャーヌサート・バンヤラチュン

主 筆 タノーム・リペワーニット

▽中原報

所有者兼主筆 朱 兆 山

▽盤谷日報

所有者 足 利 緝

主 筆 若林 修二

▽泰華商報

右の内「シークルン」は、一九二〇年の創刊で、タイ字紙中最も古く、で、財政的基礎も鞏固である。社主マニット氏は同紙と「タイラート」の兩紙を所有し、シークルン映畫會社を經營し、政界、軍部間に勢力を有してゐる人である。

「タイラート」は一九二五年の創刊で、社主が同一の關係から「シークルン」の姉妹新聞で「シークルン」が國際記事に重點を置くのに對して、國內記事に重點を置き、小説讀物類を多量に掲載し、大衆的編輯の下に、國民指導の重要目的を藏してゐる。それだけに發行部數もタイ紙としては壓倒的多數である。

「アラチャーチャート」は一九三二年、我國に御馴染み深きワソワイ殿下が創刊されたもので、現に殿下はその論說欄を擔當

して居られる。タイ紙中の最も高踏的なものに屬する。

「アラチャーミット」は一九三八年「アラチャーチャート」を退社した少壯有力記者達が共同發行したもので、派手な編輯振りによつて、主として政治、經濟記事を取扱つてゐる。新聞整理に際し「アラチャーチャート」系の「スパープブルト」を併合して今日に至つてゐる。

「アラムアーンワン」は創刊一九三六年、身上相談、戀愛相談欄などを有する特異の新聞で、近來親目的色彩濃厚である。

「ニコン」は一九三六年の創刊で、政治、經濟に重きを置いてゐる。所有者タイバーニツチャカーン氏は「バーンコーク・クロニクル」「スパープ・サットリ」の二紙をも經營してゐる。

「カオパー」は一九三八年に初め週刊紙として創刊、翌三九年日刊に變り、今日に至つてゐる。

「スワンナブーム」は一九四一年の創刊で、タイ字紙中最も新

しい新聞で、編輯方法も華やかである。小説、讀物の多いのも同紙の一特徴である。

「タイマイ」は一九三一年の創刊で、經濟記事の多いのが特徴である。華僑方面に賣行が多いやうである。

「スパープ・サットリ」は一九四〇年の創刊で、その名(邦譯名・淑女新聞)が示す通り、婦人新聞であるが、普通記事も多く抱擁し、編輯振りが活潑である。元「ニコリン・クロニクル」紙の婦人記者の手によつて創刊されたものである。

「バーンコーク・クロニクル」は一九三六年の創刊で、近年編輯振りは地味ではあるが、内容は著しく充實して來てゐる。

「中原報」は漢字紙で、一九三八年の創刊、一時既存漢字紙は悉く發行を禁止されたが、その後發行を許されたものである。

「盤谷日報」はタイで初めて出現した邦字紙で、昭和十七年三月十日の創刊である。

## 新泰領マライ四州の經濟發展

トウアーン・カーンチャナナーク

譯者註 原稿の筆者トウアーン・カーンチャナナーク氏はタイ人で、曩に昭南にあつた國際聯盟東亞局の統計主任の經歷を

有する學者で、多數の著書がある。彼は、昨年八月タイ領に編入されたマライ四州を具さに視察し、各州の有する地政學的特

徴並にその現状から得た印象を、彼の叢の二者を資料に用ひて編めこれを昨年十月発行のタイ國貿易評論 (Thailand Trade Review, Oct. 1943) 誌上に發表した。彼は同論文において、四州の地誌・歴史・英國の統治組織・人口・交通運輸・資源・貿易等に亘つて詳論してゐるが、地誌・人口・歴史・統治沿革に關しては、嘗つて本誌に同じ事項が發表されたことがあるので、ここには割愛した。

本篇は極めて平凡な論文ではあるが、しかしタイの學者が公表した、新領土に關する、恐らく最初の論文であるといふ點から、吾々にとつて些か興味があると思はれるので譯出した次第である。

### 序 論

一九〇九年の英暹條約によつて、タイ國は、ケランタン・トレンガヌ・ケダー・ベルリスのマライ四州の宗主權を英國に割讓した。これら四州は數百年間、タイ國の宗主權下にあり、トレンガヌ以外の三州は、讓渡前のある期間、タイ政府の軍備英人官吏が統治してゐた。英國政府は、各州の土侯たるラヂャ・マハの宮廷に自國人の顧問を置き、曩にタイ國が行つてゐた統治法を利用した。

四州はマライ聯邦州の北に位置し、二州は半島の東側、他の二州は西側にある。新領土の總面積は一四、七七〇平方哩であ

る。四州の住民は、マライ人・支那人・印度人・タイ人・日本人・アラビヤ人・セイロン人・ビルマ人・歐洲人・歐亞混血人等によつて構成されてゐる。

一九三〇年度の英領マライ國勢調査によると、新領土の面積及び人口は次の如くである。

州名	面積 (平方哩)	人口
ケダー州	三、六六〇	四二九、六九一
ベルリス州	三、一〇〇	四九、二九六
ケランタン州	五、七五〇	三六二、五一七
トレンガヌ州	五、〇五〇	一七九、七八九
計	一四、七七〇	一、〇二一、二九三

### ケダー州

海運 アロール・スター Aor Star スンゲイ・パタニ Sungai Patani、ランカウキ Langawi の諸港には、古くからペナン Penang から來る小帆船が寄港し、モーターボートやジャンクによる沿岸貿易も相當額に上つてゐた。ペナンは、遠洋航海汽船の連絡港であつた。

鐵道 ペナンからタイ國に至るマライ鐵道幹線は南北にケダー州を縦貫し、スンゲイ・パタニとアロール・スターを連結してゐる。凡ての驛は、本道によつて連絡し得られる。

道路 一九四〇年中の道路は全長五六〇哩で、そのうち四〇〇哩は舗裝路である。一部分は舗裝されてゐないが、最も長い道路は、ベルリス Perlis からアロール・スターを経て南下しウエレスリー Wellesley 州境のフライ・プラトク Kua Muda に通ずる道路である。もう一本の道路は、クリム Kulim とハリング Baling を經て、ケダー州からクロン Kron に至り、更に上部ヘラク Perak の各地點に達してゐる。

ある遠隔の地方では、交通機關に現在でも象を使用してゐる

河川・運河 アロール・スター周辺の地方は、ケダー Kedah 河によつて灌漑されてゐる。海岸から一〇哩下つた、全長三二五哩に亘る運河網は、農業上・排水上から重要である。

### 資 源

ケダー州は農業が主で、同州の總面積は三、六四八平方哩であるが、そのうち約一、一一七平方哩が農作物植付面積である。

主要農作物は米とゴムである。一九四〇年度の米とゴムの植付面積は、各々二四四、四九三エーカー、三一五、七二四エーカーである。

その他の作物の栽培面積は、古々椰子——約二七、七二五エーカー、タビオカ——六、七九七エーカー、檳榔椰子——二、一七二エーカー、バナナ——二、八二五エーカーである。この他五、〇八七エーカーの面積には、可なり重要な作物として、果

實・茶・煙草・パイナップル・コーヒー・干番椒・落花生・サゴ椰子・甘薯・菊醬の葉・生薑・カボック・野菜等が栽植され十分廣大な面積をとつてゐる。

### 貿 易

主要輸出品——米・ゴム・錫鑛・タビオカ・サゴ椰子・家禽・林産物・魚類・家畜

主要輸入品——綿製品・煙草類・砂糖・石油

### ペルリス州

交通・運輸 主要港は、ベルリス河を約七哩溯江したところにあるカンガール Kangar と、海岸にあるクアラ・サンラング Kuala Sanglang とである。小型モーターボートが、可なり頻繁にケダー河とタイ國のセトゥン Setun に航行してゐる。國際急行列車がベルリス州を縦貫して、バンコク間を往復してゐる。鐵道はカンガールを通らずに、アラウ Arua を通つてゐる。

ベルリス州は道路が發達し、約三六哩は舗裝されてゐるが、一〇哩は舗裝されてゐない。尙二四哩は馬道である。しかし、ジッタ Jitra とコデアアング Kodiang を經由して、ケダー州を通ずる道路を利用する以外には、タイ國に達する直接の道路はない。カンガールとクアラ・ベルリス Kuala Perlis の間

には七、八哩の道路が通じてゐる。この道路は沿岸平野を越え海岸に達する道路となつてゐる。四二哩の運河と河川は、沿岸平野にある多くの地方を連絡する交通手段となつてゐる。

### 資 源

鑛業に利用されてゐる小地域を除いては、ベルリス州は本質的に農業地域で、住民の大部分は農民であり、水田の耕作に従事してゐる。一段高い土地は Kampong' G'om、又は古々椰子の栽培に利用されてゐる。

米に近く重要農作物はゴムである。ベルリス州のゴムは生産高において、隣接するケダーに遜色がない。

第三位は古々椰子で、これは單獨に、若しくは Kampong' の間に混植される樹木である。胡桃は主に地方消費に充てられ、小規模のコブラ工業が Kampong' を栽培してゐる農民達の間に行はれ、コブラはベナンに輸出される。その他、マライの他州に共通して栽培されてゐるニツペ椰子・檳椰子・バナナ・果實野菜・菊薔の葉等がある。

錫鑛は、ベルリス州と、タイの國境を西北に走る花崗岩山脈中から發掘される。錫の起源は明らかでないが、恐らく Bukit China で發掘されたのが始まりであらうと考へられてゐるが、今のところ正しい學説に基く資料がない。しがしながら、錫の鑛床は、火山活動と水力作用によつて形成されるものと假定し

得る。

錫鑛の累年別輸出高(單位:ピクトル)

一九二八—一九二九年	九、二三四
一九二九—一九三〇年	九、三六六
一九三〇—一九三一年	九、三二五
一九三一—一九三二年	七、一八七
一九三二—一九三三年	六、二三八
一九三三—一九三四年	一〇、八九五
一九三四—一九三五年	七、一八二
一九三五—一九三六年	八、六四〇
一九三六—一九三七年	七、二九一
一九三七—一九三八年	九、九六〇

農業と密接な關聯を有するものは牧畜業である。

ベルリス州からは卵類と家禽が輸出されるが、その大部分は沿岸地方のクアラ・ベルリス、カンガール、サンラング等に植民した華僑農民が行つてゐる。彼らは一般に、土着のマライ人よりは遙かに企業心が旺盛である。

ベルリス州の森林は、一般に經濟的價值に乏しいと看做されてゐる。マライ鐵道線の東部に約三九方哩の地域があるが、從來英國政府はこれを保護地と宣言してゐた。

沿岸平野には、GRAM Gan (Manduca の一種) を産出する約一〇哩の地域がある。GRAM は薪及び杭材として、又その

樹皮は土民家屋の屋根葺用として用ひられる。マンガローフは實際に生育してゐない。

水産 ベルリス州は約一三哩に亘る海岸線を有し、五哩の沖合まで五尋以下の淺海區をなしてゐる。年に約四〇〇ピクトルの鹹水魚類が輸出されてゐた。その大部分は乾魚としてベナンに送られ、また年に約五〇〇ピクトルの鮮魚が同地に輸出されてゐた。この外、乾軍海老、同層の輸出は各二四ピクトル、五〇ピクトルに上る。

クアラ・ベルリスは漁業の中心地であるが、漁業貿易はカンガールだけで行はれてゐる。

### ケランタン州

#### 交通・運輸

英領マライ鐵道は一九三一年九月五日に開通し、幹線のゲマス Gemas からケランタン州の東亞にあるトゥムパット Tunjapat に通ずる交通機關となり、又、スンゲイ・ゴロクク Sungai Gokok で、タイ國有鐵道と交互に連絡してゐる。

昭南港とマライ東部沿岸の諸港及びパーンコック間を航行する蒸汽船は、前からトゥムパット、スメラク Smerak、パチョク Bachok に寄航してゐた。ケランタン河は、六〇哩までランチが溯江し得られる。しかし河口の沙州は、汽船の出入を妨げてゐる。一年中の七ヶ月は海上が平穩であるが、十一月から三

月にかけての東北季節風期には海上が荒れる。ベルリス州には港灣が全然ない。内陸の交通は河川、又は在來の良好な道路によつて行はれてゐる。

### 資 源

鑛産 ケランタン州には錫鑛が可なり埋藏されてゐるらしいが、踏査の結果によれば、それらの鑛脈は交通至難の地域にある。

良質のマンガン鑛は、パシール・マス Pasir Mas 北方のグアル・プリオク Gual Priok の露天掘り鑛山から發掘される。

鑛石は約十哩を輕便鐵道でグアル・プリオク驛に運び、聯邦鐵道でトゥムパットに出し、小舟で遠洋航海汽船に積込む。

農産 ケランタン州の住民は主として農作物に依存してゐるが、家畜消費と輸出のために栽植に従事してゐる。

米が作物の主位を占め、約一五〇、〇〇〇エーカーの面積に、米・甘薯・自然薯・タビオカ・落花生・甘蔗・生薑・バナナ及びその他の果樹が栽植されてゐる。ゴムは主要輸出品であり、その他コブラと檳椰子が實質的に輸出されてゐる。

古々椰子は北部平野一帯のどんな宅地にも栽植されてゐる。但しデルタ地方と沿岸地方ではコブラを製造してゐる。古々椰子の大部分は家庭で消費されるが、又その幹から砂糖を製造する。

檳榔子は作物が栽植されてゐる土地には栽植しない。しかし他の各種の作物と間作するか、若しくは宅地の周囲に栽植してゐる。

コーヒの栽培面積は小さい。

氣候が順調なために、野菜は季節外の陸地に栽培される。甘薯・茄子・干番椒・支那大根は最も多く栽培されるが、大豆は殆ど栽培されてゐない。その他、煙草も栽培されてゐる。

水産 沿岸地方の住民は漁業によつて生計を保つてゐる。但し北東季節風期には海上が荒れて出漁することが出来ない。漁夫は凡てマライ人である。

漁獲された魚類は殆ど各市場に鮮魚として販賣され、又は地方の消費に充てられる。しかし一部分は乾魚として輸出されるこれらの市場で取扱はれる各種の鮮魚は約七〇〇噸、輸出される乾鹽魚は六〇〇噸、年額四五、〇〇〇乃至七〇、〇〇〇海峽ドルである。

林産 一九四〇年末の森林保有總面積は二六六、二七九エーカーであつた。

ウル・ケランタン Ulu Kelantan とロタ・パール Kata Biji 地方には、斧鉞を入れない廣大な地域があり、一九三三年以降、これらの土地の大部分は踏査されてゐる。ガラス Galas 河流域のタアラ・レノウ Kuala Renoh とレザイル河流域のタアラ・レライ Kuala Relai の間の地方では、高地にはクルイ

ン Kerrung、ラマサ Lamsar、ムランティ Meranti、ムルバウ Merbau 等の木材が繁茂してゐる。一段低い高地からはスラヤ Seraya が産出する。現在まだ踏査されてゐない、唯一の廣大な地域は、東北、西南地方、それに隣接するパハン Pahang、トレンガヌ及び西部のペラク Perak 等である。

木材を産出する主要森林地帯は、ケランタン河及びその支流に隣接せる地域、即ちレピル、ベルガウ Pergau 及びガラス等である。

畜産 ケランタン州の家畜数は牛約一〇九、二一四頭、水牛三八、〇二六頭、羊一四、七〇三頭、山羊二一、五七一頭である。

### 貿易・商業

ケランタン州の主要輸出品はコブラ・ゴム・家畜・檳榔子・魚類・絹製品。

主要輸入品は米・煙草・綿製品・食料品・石油・檳榔膏・砂糖・木材・鹽・機械。

### トレンガヌ州

#### 交通・運輸

海運 トレンガヌ州は長い海岸線を有し、南部にはケママン

通手段となり、自動車を利用し得る補助道路と小道がある。タアラトレンガヌから南部に至る、海岸に亘つた完全な交通手段がない。

#### 資源

トレンガヌ州の主要産物は、各種の礦物・生ゴム・乾魚・胡椒・檳榔子・コブラ等である。小海老の練物——地方ではペラチャン Belahan と呼んでゐる——は多量に生産される。

トレンガヌ州は米の生産高が少なく、同州の需要を満たすに足りない。そのために年に約一五〇、〇〇〇ピクルの米を輸入するが、その大部分はジャンク又は帆船でタイ國から輸送される。

鑛産 トレンガヌ州は鑛物に富み、その主要鑛産物は錫鑛・ウォルフラム・鐵鑛・マンガン等である。他の鑛物も發掘されてゐるが、企業化する程多量には産出しない。鑛山の開發及び新鑛脈發見の可能性は未知の事柄に屬する。しかし鑛産地帯がある點から見て、トレンガヌ州は將來鑛石輸出地としての地位を保持し得る可能性がある。主要鑛産地帯は、ケママンとツングンの兩地區に限定され、ベスットの主要鑛脈から極く少量の産出を見る。錫鑛は一部分は沖積土、一部分は鑛脈中に存在する。しかして沖積土地域の大部分は掘り盡されてゐるか、若しくはそれに近い状態にある。主要鑛脈の鑛山は、フレダ Freda

Kanaman とツングン Dungun の兩港、中部にはタアラ・トレンガヌ港、北部にはタアラ・ベスット Kuala Besut 港がある。更に沿岸汽船が物資を集積するために寄航する多數の村落がある。タアラ・トレンガヌとケママンの兩港を除いては、いづれも沙州があるが、高潮時であれば汽船の入港は可能である——汽船は沖合、若しくは河口に碇泊して作業を行ふ。

沿岸の各村落間と、トレンガヌ河を溯江するモーターボート定期航海がある。各河川の上流にある村落の交通は殆ど河川によつてゐる。

ブルンティアン Perhentian、カパス Kapas 兩島は、非常の場合には、全くよい碇泊所となる。

税関倉庫は、物資の保管に利用される。

道路 トレンガヌ州の道路は全長約四七哩で、そのうち後一七哩は瀝青道路である。主要道路は、タアラ・トレンガヌでケランタン州の道路系統並にマライ鐵道と連絡し北行してゐる道路である。その他の重要道路は、タアラ・トレンガヌからタアラ・ブラング Kuala Brang に通ずるものと、ケママンから、その西方一九哩の地點にあるアエール・プターエに至る道路である。

重要な道路は本道とタアラ・ベスットを連絡するもの、タアラ・トレンガヌ——タアラ・ブラング、ケママン——アエールプターエ、ツングン——バカ Patra 等である。しかし有用な交

スンゲイ・アヤム Sungai Ayam 及びスンゲイ・カジャング Sungai Kajang 等にある。しかし地質學調査によると、これら三鎮山は限定された地帯にある。即ちパハン州のスンゲイ・ラムビング Sungai Lembing 鎮脈の延長部にあり、また他の鎮脈も同地域にある。

ウォルフラム鎮の探鑛は積極的に行はれてゐる。ウォルフラム鎮山は、僅かに四個所しかないが、戰爭中は採行を休止してゐる。

農産 トレンガヌ州は二、三の地域を除いて、農産地域としての將來性がある。現在は僅かに沿岸の砂土地帯だけが開發されてゐるに過ぎない。主要な除外地帯は、ゴム栽培の行はれてゐるジャボール Jabor 谿谷・ウルム・ケマセグ Kemasek 谿谷及びトレンガヌ河とベスット河の間にある谿谷である。後者は米の栽培に適する廣大な地域を有し、米作地及びそのための灌溉水路を開拓に従事する人々の到來を待ちつつある。隣接せるケラントアン州は米作地として名高いが、兩州の状態を比較して見るに、トレンガヌ州も將來米作地として發展する可能性がある。

トレンガヌ州のマライ人は、農民・漁夫・手工業者として、他州の各種族と共通しない活動力を持つてゐる。同州の主要作物は、米を第一位として、ゴム、古々椰子・檳榔子・檳榔膏等である。

同州のマライ人は、半島のどの地域のマライ人よりも、漁業に秀てゐる。漁業は殆どマライ人が行つてゐる。しかし漁業の投資及び市場への出貨は、他州の例に漏れず、殆んど凡て華僑に掌握されてゐる。州内の地方的消費を超える多量の漁獲があり、魚類の輸出は同州の主要産業である。

英國政府の報告によると、トレンガヌ州の漁業に従事してゐるマライ人は一五、〇〇〇人を下らず、沿岸に住む凡ての少年達は、一六七才に達すれば事實一人前の漁夫となる。その外の男子・女子・子供達も、間接的に漁業に従事してゐると述べてゐる。

トレンガヌ州のマライ人は、大なるは七〇噸のモーターボートから、スクーター型帆船・小型の舟、小なるは獨木舟に至るまで、各種のボートを製造し得る。

漁獲法は下の三種に大別し得る。深海漁法——流網を使用し海岸から六哩乃至一〇哩離れた各地で行ふ。沖漁法——曳網を用ひ、海岸沖で行ふ。沿岸漁法。第一の方法は最も一般的で、海峡沖で各八〇〇弗もする、少くも五種類の網を用ひる。これらの網を海中に設置する Prahu は、普通午前四時——六時で引上るの午後二時——五時である。

凡ての漁獲物は、家庭消費用としてマライ人に賣るか、若しくは貯蔵・輸出として華僑に販賣する。冷凍設備がないので魚類は乾魚及び鹽漬魚として輸出される。それらの魚類は、ジ

その他の比較的重要な作物は野菜と香料である。野菜はマライ人と華僑が、家庭消費と地方市場に販賣するために栽培してゐる。各種の香料は、マライ人と華僑の食事に缺くべからざるものである。

煙草の生産は増加してゐるが、上流地方の住民は、貧困であるために輸入煙草を購入し得ないので、彼等の消費に充てるために増産を行つてゐる。

畜産 トレンガヌ州では、米作を二、三季節行つた後に、その米作地域を休作したまゝ二、三年放つて置く方法を探つてゐるので、自然に牧草が生育するが、その牧草は良質である。地方の家畜は、體軀は小さいが、多量に産し概して質がよい。現在同州で飼養されてゐる家畜数は凡そ、牛四〇、〇〇〇—五〇、〇〇〇頭、水牛三〇、〇〇〇—三五、〇〇〇頭である。山羊は質も良好で、豊富に生産されてゐる。羊は可なり多く飼育されてゐるが、恐らく同種交配が行はれてゐるためか、品種が悪い。

同州には獸醫局もなく、それに地方の家畜所有者に保護・消毒に関する知識が缺如してゐた。専門家の監督指導が宜しきを得れば、發展しつゝある他の産業と同じく、家畜の輸出も十分可能性がある。自然の牧草があるので、トレンガヌの家畜所有者は、家畜の番人に過ぎない。

海産 トレンガヌ州は、沿岸到るところに漁業が行はれてゐる。

ナクと呼ばれる竹籠、又は木箱に詰められて輸出される。小海老の練物も多量に輸出される。

北東モンスーン期間は、天候の定まつた、短い期間内に漁撈が行はれる。しかし島嶼の住民は、漁業以外に、バナナ・古々椰子・野菜・陸稻等を栽培する。また島の菓、卵、海鼠或は Sea Slug 等を採集する。

林産 トレンガヌ州は殆ど森林を以つて蔽はれてゐる。凡ゆる大河の上流地域には、經濟的價値を有する木材を豊生する。伐採された木材は、これらの水路によつて輸送される。カプア Kapur は半硬材で、州の殆ど南部一帯に亘つて産出され、經濟的には、同州から産出される木材中最も大きな地位を占めてゐる。カプアは、多くの地域に生ずるチェンガル Chergal と同じく二羽柿科に屬する。カプアは地方では高く評價されてゐないが、よい輸出市場を有する。

チェンガルとムルバウは同州一帯に見られるが、最も多量に産する硬木はルサク Resak ——地方ではテングカワン Teng-Kwang と呼ばれてゐる——である。

トレンガヌ州は、軟質材の産出については半島隨一の地位にある。ムランティとクルインは、州の至る所において見られる。その他の林産物は、樹脂 damar、インドゴム、ガタヘルチア gutta percha 藤等である。

工業

トレンガヌ州の住民は手工業に秀で、ポートの製造者であることは前に述べたが、その他の、二つの最も重要な家内工業は紡織及び白色真綿——テムバヤ・プテーエ Tembaya Putih と呼ばれてゐる——で各種の家具の製作である。

トレンガヌ製の絹サロンは長い間名譽を得てゐる。婦人が行ふ手織機は、クアラ・トレンガヌの周辺の多数の Kampong 家屋に見られる。華僑の絹織糸は一付度いくらで販賣される。トレンガヌ州においては、仕上品の値段が著しく安いので、従つて儲も薄い。しかし、地方で生産される、絹織サロン、同布の輸出額が三〇〇、〇〇〇弗を下らない事實から見ても、この家内工業が占める地位の大きなことが分る。地方の需要に關しては、利用し得る數字はないが、その需要が多いことが想像される。マライの王族及び他州の名士が求める、もつと精巧な製品及び最上品は全く上質である。

テムバヤ・プテーエの正確な組成は貿易上の秘密であるが、この合金は、真鍮・亜鉛・ニッケル等の混合物である。真鍮具の製造及び青銅は、古い時代に、パタニエのマライ人によつてトレンガヌに紹介されたと言はれてゐる。又その後、數名の神話的歐人が光澤クロームの製法を示唆といふ説もある。製法は幼稚である。

### 貿易・商業

トレンガヌ州の主要輸出品は鐵鑛、マンガン、錫鑛・ウォルフラム、生ゴム、コブラ・檳榔子、乾魚・真鍮・及び白色真綿製品・絹サロン等である。主要輸入品は煙草類・白米・絹織糸・石油・酒精・罐詰ミルク・綿織物・絹織物等である。

田中正夫譯

## 強化された泰の經濟統制

### 本協會調査部

泰國政府は開戦以來諸物資の統制に着手し、隨時法律、勅令省令等を發してこれを強化して來たが、本年に入つてより國內

消費狀況と生産状態、輸入事情等を脱み合せて、益々強化の度を進めつゝあり、最近數ヶ月間に於て、商業省、内務省、軍最

高司令部、パインコークトンプリー自治市執行委員會等によつて統制令を發せられたるもの、消火機及附屬品、椰子油(價格)食物(販賣)、淡水魚苗、棉及棉種子、各種工場製品、機關車以下鐵道器材、布地衣類其他重要商品一切に及んでゐる。その數種について、左に統制の概況を列記する。

**消火用具** 蒸汽ポンプ、各式の消火器及びその部分品、附屬品の一切を舉げて商業省並に内務省の管理下に入れられることとなつた。この消火用具の管理が發表されたのは三月一日であつたが、パインコークトンプリー特別市區に於てこれらの消火用具を所有する者は、その用具の種類如何を問はず、在庫品を商業省賣買管理局に登録することを命ぜられ、登録期限は三月八日までとされた。右の管理下に於て在庫品賣却又は移動を行ふ場合は政府の許可を要する。三月八日後入手した品については三日以内に登録しなければならぬ。

**工場製品登録** 去る一月商業省發表の告示、最近新設された諸工場はその生産する組合協定製品の登録並に事ある場合と當局の指示を受けたる場合に完全なる報告書を呈出すべしとの規定に基いて、次掲の何れかの品の製造に従事する工場は、三月二十五日より四月末日までこれが申告を命令された。

- 硝子、石鹼、苛性曹達、紙巻煙草、燐寸、タイヤー、帽子、建築用材、陶器、漆器、塗料、粉類、縫針、輕油、罐詰食糧
- 硝子、石鹼、苛性曹達、紙巻煙草、燐寸、タイヤー、帽子、建築用材、陶器、漆器、塗料、粉類、縫針、輕油、罐詰食糧
- 硝子、石鹼、苛性曹達、紙巻煙草、燐寸、タイヤー、帽子、建築用材、陶器、漆器、塗料、粉類、縫針、輕油、罐詰食糧
- 硝子、石鹼、苛性曹達、紙巻煙草、燐寸、タイヤー、帽子、建築用材、陶器、漆器、塗料、粉類、縫針、輕油、罐詰食糧

**輕油** 以上の登録はパインコークトンプリー市内の諸工場内にのみに行はれるもので、工業省副大臣室内の工場管理部に於て登録を取扱ふ。

**鐵道器材** 軍最高司令部は四月七日、各種の機關車、車輛、軌道、其他の附屬品、並に鐵道建設用の機械、器具一切を統制する旨軍令を發した。この統制で、機關車、車輛、附屬品、一ヤード十六ポンド又は一メートル八キロ以上の軌道、枕木、推進機、避線、大釘、換板並に建設、保線用機械器具の數、所在場所等の報告を求め、報告はパインコーク市の内部地域は交通省に外部地域及び地方は當該都役所に四月十五日乃至二十日の期限を附して命ぜられた。

これらの諸品の移轉、變更に當つては當局の許可を要し、同月廿日以後新にこれが入手を爲した者は三日以内に報告を要し違反者は嚴重處罰される。

**棉及び棉種子** 商業省、内務省によつて棉花及び棉種子を統制管理することとなつた。これが施行區域はパインコーク以下二十四地方で、棉製品の貯藏場所、原棉及び棉種子の賣却、消費、移動等の申告、一部地方の輸送禁止、棉價の最高價格設定等に規定が及んでゐる。

**重要商品** 政府は四月十日附勅令をもつて衣料類の統制令を公布し、更に食糧その他重要商品に對する統制を徹底化するた

め翌十一日附をもつて食糧並に重要商品統制に關する勅令を公布戦時經濟の確立に邁進することとなつた。新統制令の重點は商務省並に内務省の下に統制委員會を設置して適正配給並に物價を公定せしめ、統制違反者に最高死刑の處罰を科するにある。衣料切符制 布地、衣類については月中に各業者より貯藏量の申告を求めることとし、五月からこれが公定價格を定め、點數切符制による配給を實施する。品目は綿布綿製品その他一般國民生活に缺くべからざる布地類に限り贅澤品と目され得る。

## タイ國政治組織並に重要職員

立憲君主國タイ王國は、國王チャクリー王朝第八世アナンド・マヒドーン第八世陛下の統治せられつゝあることは言ふまでもない。その統治下同國の最高政治組織として、攝政府、人民代表議會、内閣、國軍最高統帥部があることも亦改めて茲に記すまでもないが、それ以下の官制については、近年たとへば行政系統に於て經濟省が廢止されて、商業、工業の二省が創設された如き、また統帥系統に於て戦時委員會の新設、軍司令官軍政長官等の特設等があり、戰爭によつてタイ國の官制は相當の變貌を呈してゐるので、今回この機會に官制の概要を列記し且つ二月現在の調査を基礎として重要職員の名を併記する。即ち左の如し。

の、ポプリン、リンネルなどは除外してゐる。また綿布ならびに綿製品には公定價格を設定するが、人絹、スフなどは適正價格に止めることになつてゐる。配給切符制度は我が國の制度に似てゐるが、國情に應じて特色を盛り、各家庭とも家族數の如何を問はず一世帯半箇年二十四點を支給し、上衣、ズボンなどを十點以上、その他の下着類は十點以下とし、綿製品以外のもはその半分の點數で買へる。

### ◇攝政府

(首座)アーティツ テイツアーパー海陸空軍大將 プリー  
デーバノムヨ

### ◇人民議會

第一種議員 (民選)  
議長 クラセーノニ海軍少將  
副議長 プラチオン マハディロク パチヨンパチャヌ  
人民議會秘書處  
秘書長 チャロエーン バンタロー

### ◇國軍最高統帥部

最高統帥官 プレアーク ビブーンソクラーム元帥  
副統帥官 ビッチ クリアンサクビッチ 陸軍中將  
北タイ軍司令官 デーチャー ブンヤク 陸軍中將  
シヤン地方軍政長官 デーチャー ブンヤク 陸軍中將  
マライ四州軍政長官 カモン チョテイカサテイアー  
陸軍少將  
國土防空司令官 サワツ サワツロンナロン 陸軍中將  
軍鐵道司令官 マンコーン プロムヨートイ 陸軍中將  
戦時委員會委員長 プレアーク ビブーンソクラー  
ム元帥  
同盟國連絡事務局長 チャク プラテイバセーン 陸軍  
少將

### 内閣顧問

閣員 ワン ワイタヤーコン殿下  
ビッチ クリアンサクビッチ 陸軍中將 (國防大臣)  
サワツ サワツロンナロン 陸軍中將 (國防大臣)  
バオ ビアンラック ポリバンニタキ 陸軍少將  
(大藏大臣)  
デイレック チャイナーム (外務大臣)  
モムルアン デーサニツァン (商業大臣)  
マハイソムパツシリ (商業副大臣)  
チニアン チャウエーンサクソクラーム 陸軍  
大臣 (衛生大臣・大藏農務代理大臣)  
シン カモンナーウイン 海軍中將 (農務大臣)  
チャルン ラタナクンセーリールアンリツ 陸軍  
大臣 (交通大臣)  
ブン スプチャラサイ 海軍大佐 (交通副大臣)  
マンコーン プロムヨートイ 陸軍中將 (内務  
大臣)  
アドゥーン アドゥンデーツチャラツ 海陸空軍  
警察大將 (内務副大臣)  
ボン サマハーン (内務副大臣)  
ウタイ センマニ (内務副大臣)  
タワン タムロンナーワースワツ 陸海空軍少將  
(司法大臣)

### ◇内閣

總理 プレアーク ビブーンソクラーム元帥  
副總理 アドゥーン アドゥンデーツチャラツ 陸軍空軍  
警察大將  
副總理 チニアン チャウエーンサクソクラーム 陸軍  
大佐  
顧問 ワン ワイタヤーコン殿下  
内閣議長 プレアーク ビブーンソクラーム元帥

ブラエーン パモンメントリー陸軍少將(文部大臣)

ドゥアン プンナーク(文部副大臣)

ムニー ウエーッ チャヤンランスリッ 空軍少將 (工業大臣)

モムルアン クリーデーチャティラン 陸軍少佐 (工業副大臣)

チャイ プラテイバセーン 陸軍少將(外務代理大臣)

サグラン スワナチア海軍大佐(内務代理大臣)

ウドムヨータ ラタナワデー 陸軍少將(無任所大臣)

カンプ タッタノン 空軍少將(無任所大臣)

總理秘書官室

秘書官長 ラタナビブーンチャイ 陸軍大佐

秘書官次長 チッタセーレンバンチャイ

内閣書記官室

書記官長 チャイプラテイバセーン 陸軍少將

法制審議委員會

委員長 ドムサン プンナーク

顧問 ビチャーン プンヨン

文官登用委員會

委員長 プレアークビブーンソクラーム元帥

秘書長 プラディックスクム

會計検査委員會

委員長 モムルアン ダムリイサランケン

秘書長 キン アサワノン

宣傳局

局長 バイローツ チャイナム

次長 ビアーン ラーチタムニテーツ

藝術局

局長 ヨン アヌマーンラーツチャトン

顧問 サイローツ スカヤレラヌニムマン

文化院

總裁 プレアーク ビブーンソクラーム元帥

副總裁 タワン タムロンナーワーサワツ 陸海空軍少將

秘書長 チュア ビタクサーコーン

婦人部長 ライアーツ ビブーンソクラーム 陸軍中佐

自然現象研究委員會

委員長 プレアーク ビブーンソクラーム元帥

副委員長 シン カモンナーウイン 海軍中將

大藏省

大臣 バオ ビアンラーツポリバンユタキッ 陸軍少將

國防省

大 臣 ビチッ クリアンサクピチッ 陸軍中將

副大臣 サワツ サワツロンナロン 陸軍中將

秘書長 ラクバンヤーラチュン 陸軍大尉

次 官 チツマンシンシナヨータラック 陸軍中將

陸軍部長 プレアークビブーンソクラーム元帥

陸軍次長 サワツサワツロンナロン 陸軍中將

陸軍部長補佐 チラワイチツソクラーム 陸軍中將

海軍部長 シンカモンナーウイン 海軍中將

海軍次長 チャロエーンソクラーム 海軍少將

空軍部長 カンプタノン 空軍少將

空軍次長 ฟンロンナバーカーリッタカニ 空軍少將

代理大臣 チュアン チャウエーンサクソクラーム 陸軍大佐

顧問 ウイワタナチャイ チャイヤン 殿下

秘書長 ヨーッカンナスリッ

次 官 タンギアン リラミアン

財政局長 ネーブ パホンヨートイン

中央會計局長 チャラン チョテイカサテイアーン

國稅局長 ウイムワテイッ ラビバツ 殿下

稅關局長 パナム ナカラヌラク 陸軍大尉

專賣局長 チャラウ シーサラロン 陸軍中佐

內務省

大 臣 マンコーン プロムヨートイ 陸軍中將

副大臣 アドーン アドウンデーツチャラツ 海陸空軍警 察大將

副大臣 ボン サマーハーン

副大臣 ウタイセーシマンニト

代理大臣 サグラン スワシチア海軍大佐

顧問 チツマンシンシナヨータラック 陸軍中將

武官秘書長 スワン ワタヤーノン 陸軍少佐

文官秘書長 カセーム ウタヤニン

次 官 チョイ スントーレンピビツ

警察局長 アドーン アドウンデーツチャラツ 陸海空軍 警察大將

內務局長 サギアム ロンナロン 海軍大佐

土地局長 ホン チョート

刑務局長 サブラン テーブハサディン

檢事局長 モンコン クラークラーンサモーン 警察大佐

外務省

檢事局長 シツ チュンナノン



大 臣 デイレクチャイナーム  
代理大臣 チャイブラテイバセン陸軍少將  
顧問 ワン ワイタヤココン殿下

刑事裁判所長 イアム ニテイボン  
民事裁判所長 プラワツ バツタボン

文 部 省

秘書長 タワツ スツチャリックン  
次 官 シツ シツサヤームカーン  
儀典局長 リアムウイラツチャバーク海軍大佐  
東方正務局長 ウイスイラツアンタユク  
西方正務局長 タウイータウエーテイクン  
經濟局長 ウオンビニツアクソーン  
駐日大使 ウイチウイッチワターカリン  
駐獨公使 プラサツチュエーティン陸軍少將  
駐伊代理公使 アタキツパノムヨ  
駐佛公使 パーヒトナワラツ  
駐瑞西公使 ウイライヨラツ  
駐葡公使 モムラーチャランタンサニツラン陸軍少將

大 臣 ブラユーンバモンモントリ陸軍少將  
副大臣 ドウアーン ブンナーク  
秘書長 オクブリー バンクラウイー  
次 官 スチツ スチツバラビタヤ  
宗教局長 ヌアーン サラーヌプラバン陸軍大佐  
體育局長 チャムルアンチンダーラクサワツチュエート  
普通教育局長 モムルアンマラーラク  
職業教育局長 スチツニムマンヘーミン

農 務 省

大 臣 タワン タムロンナーワーサワツ海陸空軍少將  
秘書長 サワイインタラプリーチャ  
次 官 キアン ラクタプラキツ  
大審院長 ヲン ラプリタムプラカン  
控訴院長 マヌエーツ、スマラン

大 臣 シン カモンナーウイン海軍中將  
代理大臣 チャウエーンサクソクラーラム陸軍大佐  
秘書長 カセーム スクロツ  
次 官 サダブ ウイラテイアン  
農務局長 チュアン ローチャイ  
森林局長 ビアーン ビリヤョーティン陸軍大佐  
漁業局長 ブン インタラムバン  
水利局長 ウドムヨーターラタナワデー陸軍少將  
合作事業局長 ビチャーインバンヤワニツ

司 法 省

商 務 省

審査局長 チャイセーンチュエート陸軍中佐  
大 臣 モムルアンデーツサニツラン  
副大臣 マハイサワンソムバツシリ  
秘書長 チュップ サラヤウイン  
次 官 チヤボテイタツ海軍大佐  
國外貿易局長 タウエータウエーテイクン  
國內貿易局長 マハイサワンソムバツシリ  
貿易監理局長 ウバイビントウヨーティン  
商業登錄局長 チョーッチョーテイカサテイアーン  
商業振興局長心得 シングライワ  
情報局長 ヲンサマーン

交 通 省

大 臣 ムニー ウイチヤンランサリツ空軍少將  
副大臣 モムルアン クリーデーチャテイラン陸軍少佐  
秘書長 プルン キッタサンク  
次 官 トウリー テイラナサン  
科學局長 プラチニアブ ブンナーク  
鑛山局長 モムルアン ウドムサニツラン  
工業振興局長 ラツチャダービセークソナーナクン殿下  
工業局長 モムルアンアピラムチュムサイ陸軍少將

大 臣 チャルンラタタクンセーリールアンリツ 陸軍中  
將  
副大臣 ブンスブチャラーサイ陸軍大佐  
秘書長 バドクンサワツ  
次 官 チヨム チャルラツ  
運輸局長 チュエイバンチャロエン陸軍大佐  
鐵道局長 チャルン スーブセーン  
郵便局長 ウイチヤン サウエーツウイツ  
道路局長 プラソダ スクム  
港務局長 ウイクン ボンサムツ海軍中佐

衛 生 省

大 臣 チュアンチャウエンサクソクラーラム陸軍大佐  
秘書長 シク チャテイナン  
次 官 ブン ワイタヤーカーン  
醫學局長 ニツ ウエーツウイシツ  
衛生局長 セン テイボン  
厚生局長 チヤムノン チヤムノンブミウエーツ陸軍中  
佐  
大學醫學局長 カムチョーン プラシクン  
醫科學局長 チャロエーム プロムマーツ  
醫師局長 チューシータツ

## 泰國事情

(本欄記事は大部分タイ紙、一部國內紙に據る)

### 行政刷新委員會設立

灌漑、輸送、教育、國民生活等々戰時下喫緊を要する諸問題にわたり、これが行政刷新強化を圖るべく、内務大臣プロムヨ

ーティ中將を首班とする一委員會がタイ國政府内に組織されることになった。プロムヨーティ委員長の下には、内務、厚生、公衆衛生、農務、灌漑、共同組合、林務、工業振興、水産、畜産、商務各局の局長及び内閣會議書記局の代表者一名を加へた各委員を網羅する筈である。

### 科學委員會組織

政府の科學事業及び科學研究は從來工業省科學局の一手によつて管理されてゐたが、今回科學委員會が組織されて、同

局と共同の下にこれが推進されることになった。同委員會は科學局長を委員長とし、各省、各局の専門技術家を委員に任命する。

### 家屋裝法定

内務省は家主たる借家人たるを問はず、從來の工場煙突同様住宅及び事務所建築物の偽裝を強制する法令の立案中である。

### 官吏實業界入り禁止

政府は近く官吏に實業に就くを許容した現在の服務規定を廢止するものと見られる。その結果實業界入りをするため官職を辭する者に對し之を許さないことになる。しかし或種の例外は許される。これらの官吏にして既に右目的のため辭職

を許可された者に對しては、復職を許される。

### 私利者嚴罰布告

軍最高司令部は三月三十一日附「不當賣買に關する件」の布告を發して、一部の利己主義的商人に對して峻烈なる警告を與へ、服せざる者は嚴罰に附する旨表明した。

### 新政府街建設計畫進捗

政府發表によれば、パノム・ドンククラーク山岳地帯に於ける新政府街建設の準備は完了した。

新政府街建設事業推進の主任としてアドン警察大將が任命され、建設事業は第三管區監察官を委員長とする縣委員との協力の下に建設事業が進められる。

### 少年警察隊員養成

内務省の計畫に基き警察局内に設けられる少年警察隊は、先づ最初にパインコーリクトンブリー、市内の少年のみ任命

することになった。

少年警察隊志願者には一定の資格を附してゐるが、年齢は十六歳以上、少くとも中等學校四年以上の學力ある者を有資格者としてゐる。

訓練期間は二年間で、最初の一年を二學期に分ち、一學期を六ヶ月とする。第一年の學科目としては體育、心理學、法律、紀律、軍事教練などに重きを置く筈である。

第二年は實地訓練で、訓練生は各警察署に配置され、實地についてこの社會の實際知識を習得する。

二年間の訓練を了へると、訓練に相當する俸給を與へられて警察隊に編入される。

少年警察隊はまた試験の上隊員に奨學資金を與へ陸軍大學に入學せしめて勉學せしめる。

### 盤谷市管區外に立つ

バンコクコトンプリー市は、タイ國五管區中の第一管區から分離すること

なり、それ自身一個獨立した行政體となつた。

### 盤谷市會二法案通過

市場並に精練所建設に關する特別市法の二議案が、三月一日午後開會されたパインコーリクトン市會に提出された。當日は二十四議員が出席し、討議の上重要な點が可決された。

市場建設案の要旨は、市場建設に當つては墓地、火葬場、牧場から百米以内を許されず、排水、通風、採光等の衛生設備を要し、市場内部も店の高さ六十種以上、通路の幅員二米以上動物の侵入防止に必ず戸を附すを要する。また廢物を捨てる層入と清掃用の水を用意し、傳染病患者の顧客に對しては販賣を拒否せしめる。市場の開店時間も午前二時から午後八時までと指定され、店舗敷地の賃貸料も一年間一平方米につき二十士丹と規定され、百銖以上に及ぶ敷地を何人に對しても貸與するを許されない。

精練所は人家密集區域にこれが建設を

禁止したものである。

### 盤谷防空警察法強化

パインコーリクトンブリー市執行委員會は内務省立案の各戸に避難所設置を強制した既設「防空警察法」の強化の施行準備中であるが、施行區域はパインコーリクトンブリー全市にわたるものと見られる。右改正法に於て政府の狙ふ所は左の四點である。

- 一、空襲警報の警笛の吹鳴後五分以内に避難所に入らしめる。
- 二、警察官を扶けて人命、財産の救助に當らしめる。
- 三、防空警察吏を扶けて燒夷彈消火に當らしむる。
- 四、他人の避難所に侵入せしめぬ。

### ヒン首相の對滿祝電

去る三月一日の滿洲國建國十二周年記念日に際しヒン首相は祝電を、ディレック外相はメッセーヂをそれ／＼贈つたが、ヒン首相の祝電左の通り。

滿洲國總理大臣閣下

滿洲國建國十二周年記念日に當り、予は深甚なる感激を披瀝し、たとひ戦時中とはいへ、その式典の莊嚴さを失はず執行されんことを冀望するの光榮を有す。

滿洲國と泰國とはアジア民族解放の大事業に對し、今や協力の實を擧げつゝある。我々は今回の戦争の先導者たる偉大なる日本との緊密且つ衷心からの協力によつて、我等が究局の目的即ち最後の勝利とアジア大陸の平和と共榮とを、大東亞共同宣言の五大要綱に基いて之を期せんとするものである。予及びタイ國民はこの佳日に臨み祝意を表すると共に、滿洲國同胞と相携へて今日の喜びを分かち、地上のあらゆる神々の神助を得て、相互益々福祉を増進し、永久の繁榮をはからんことを祈念するものである。

#### ビョン首相の對印祝電

ビョン首相は七日インド國民軍最高指

今回の異動によつてプラユーン少將はその創設にかゝるユワチオン指導者の地位を退いたもので、ユワチオンは今次の異動によつて名實共に國防軍に屬し、一元化されることとなつた。

#### 婦人軍隊最初の編制

タイに於ける最初の婦人軍隊、スラナリー大隊が編制され、ロブプリー、宮殿に司令部が設けられる。すでに司令部の兵舎の準備を了らんとしてゐる。これはスリヨタイ婦人聯隊中の最初の軍隊を成すもので、来るべき國慶日に正式任命され、ロブプリーに駐屯する。他の二個大隊シサントン・テブサトリーの二部隊も編制中である。

#### 泰國軍偵察隊交戦

三月十日午後泰國軍最高統帥部は左の如く發表した。

タイ・ドームに於ける我が偵察隊は一月中に於て四回、二月中に於て二回敵と交戦し、大損害を興へて之を撃退し

揮官スバス・チャンドラ・ボース氏を通じて印度國民に宛て大要左の祝電を發したる旨八日宣傳局より發表した。

余はタイ國民を代表してインド國民に對し衷心慶祝の意を表し、併せてインド國民軍が今後更にインド領内に鋒を進め道義の戦において終局の勝利を收められんことを祈るものである。

#### 工業副大臣辭任

タイ國工業副大臣モムルケン・クリ・デ・チャティウオン陸軍少佐は辭任し、タイ國工業振興會社副會長の職に専任することになつた。

#### 軍防空移管

泰國防空隊は最近まで國防省に屬してゐたが、今回軍最高統帥部に直屬することになつた。

これに伴うて空軍司令官はサワット・サワットデイロナング中將に代つて、シーハナー・ヨタラク中將が、副司令官はプロット・プロットボラパークビブ

三〇

ンラハヌワット少將に代つてナイ・チー・イー・サンソンビット中將が轉補された。

またこれと同時にアドン警察大將以下七名の顧問を含む空軍委員會が組織された。

新任空軍司令官は更に爆彈、燒夷彈、兵器類の配分にも當るもので、カモフラージュ並に燈火遮蔽用具の配分にはナイアリ・サッボン氏が當ることになつた。また十六名の官吏が内務省内に設置された防空局の職員として、最高司令部に直屬された。

#### ユワチオン國軍歸屬

タイ國防軍では三月廿八日附官報で次の如く發表した。

タイ國防軍軍事豫備訓練局長  
プラユーン・パモンモントリ  
任國防軍參謀本部附  
軍事教育局長兼憲兵總監  
ルアン・ルアンヴィラエット  
兼軍事豫備訓練局長

た。

#### 敵機旅客列車銃撃

軍最高司令部四月三十日の發表によれば敵機五機は四月二十五日正午頃泰國有鐵道北方線ウタラディット附近のバンドラ橋梁通過中の旅客列車に對して低空銃撃を加へ、乗客中死者十名、負傷者多数を出した。敵空軍のかゝる度び重なる旅客列車攻撃の非人道行爲は泰國國民をいなく憤激せしめてゐる。

た。

#### 政府經濟政策大綱闡明

ビョン首相は一月十日政府當面の經濟政策を公表したい要旨左の如し。

政府の經濟政策は農業、工業商業を振興し、重要物資の自給自足によつて國民生活を確保するにあり、左の大綱に基き之を實施せんとするものである。

一、政府は民間事業の發展を希望し、民間業者と競争する意志はない。

二、民間大資本企業にして尙ほ資本の不足に困却する場合は、政府は之に投資し、共同經營を行ふ。但し該企業の基礎確立するに至らば政府の持株は之を民間に拂渡す方針である。

三、農商工各分野に於ける政府の具體方策左の如し。

イ、農業 一般農産物の増産、牧畜の保護奨励に力め、各種物資にわたり適正價格を以て販賣斡旋に従ふ。

ロ、工業 従來外國製品依存に因つて工業不振の状態にあり、諸原料豊富にも拘らず、衣料品その他製造品の不足に悩まされてゐる。政府はこの現状に鑑み工業省をして生活必需品製造工業の促進に努めつゝあるも、這是決して民間工業と競争せんとするものではなく戦争遂行上不可缺の要請である。故に戦時中にあつては或る程度の民間業者の犠牲はやむを得ぬ。

ハ、商業 政府は商業取引の圓滑を期する爲め取引業者の國籍如何に拘らず、

均等の支持を與へる方針である。一方政府はまた民間と共同して商會社設立を促進しつゝあるが、會社の基礎が確立の上は政府の手持株は一般に解放する方針である。

**本年度總算細目**

タイ國佛曆二四八七年即ち本年度國家總算は曩に人民代表議會を通過し、その收支總額に就ては本誌前號所載の通りであるが、その詳細内容、費目等の發表されたるもの左の如し。(單位バーツ)

一、一般歳入總計	一八八、三〇〇、六六五
一、一般歳出總計	一八八、三〇〇、四五七
一、投資支出	一五一、四四一、五〇二
總計	一八八、三〇〇、六六五
内譯	
一、總理大臣官房	一九五、四〇〇
一、國防省	二、七三二、二五八

一、大藏省	一二五、〇二四、〇四〇
一、外務省	四〇、七〇〇
一、厚生省	四八五、九三二
一、工業省	六、六九四、三〇〇
一、農業省	五、五七〇、七三〇
一、交通省	三二、七二九、九九三
一、商業省	七七七、一一〇
一、内務省	一一、九四六、四六四
一、司法省	二、〇三六、三〇〇
一、文部省	一、〇七七、一三八
一、議會書記官長室	三〇〇
總計	一八八、三〇〇、四五七
内譯	
一、王室費	四一四、二〇〇
一、國債費	四八六、〇九五
一、營繕費	九、五六五、五八五
一、官廳々舎新築 修繕費	一、二一一、八六六
一、豫備金	九、四四八、三六四
一、總理大臣官房	二、八二八、二二七
一、國防省	四七、二三六、一六七
一、大藏省	二、三、八五八、六六三

一、外務省	二、八二四、八二二
一、厚生省	五、五九九、六六五
一、工業省	一、〇四六、四三二
一、農業省	八、三〇六、八四〇
一、運輸省	一九、七七〇、九一六
一、商業省	八三七、九五八
一、内務省	三一、〇二六、七三三
一、司法省	二、三六三、四七七
一、文部省	一九、八五八、三九三
一、宮内事務局	六三三、〇四一
一、宮中秘書府	七五、四九二
一、議會書記官長室	七七〇、八二一
一、宮内官府	一八、〇〇〇
一、國民文化院	二二〇、〇〇〇
總計	一五一、四四一、五〇二
内譯	
一、國防費	一一三、四八五、三三三
一、石油購入費	一、一四四、〇〇〇
一、同管理費	五、一九六
一、馬匹育成費	一〇〇、〇〇〇
一、色刷印刷機購入費	二〇六、四七八
一、葉書印紙印刷機	一〇四、九六〇

一、王室財産改良費 一〇〇、〇〇〇

一、タイ工業振興會社出資株	八〇〇、〇〇〇
一、國債償還及利子六	五四八、九九〇
一、浮浪者管理費	五〇三、〇五二
一、食肉畜乳會社	九九九、五五二
一、アラカノング村に於ける土地購入費	一八〇、〇〇〇
一、タイ織物會社	一二五、〇〇〇
一、家内織維工業獎勵費	二四五、〇二〇
一、機織獎勵費	二二二、二二〇
一、棉作獎勵費	四八、五六〇
一、農業獎勵費	一九二、七三〇
一、官營灌溉及地方灌溉事業	四、二一四、一五〇
一、共同組合擴張費	五八、〇〇〇
一、觀光事業費	一六、五〇〇
一、運搬擴張費	二、二六八、二八八
一、郵便電話	一、七五五、一三六
一、國道建設及同豫備金	八、三五一、九〇〇
一、鐵道	四、二六一、五七〇
一、タイ製造販賣會社株式購入費	

一、共同住宅計畫資金 一九、一二五

一、發電所	一〇、〇〇〇
一、實業教育擴張費	二八四、八〇〇
一、洪水救済資金	一、三九四、四一五
一、行政整理費	二、〇〇〇、〇〇〇
一、災害救済資金	一〇〇、〇〇〇
一、國有財産輸送費	六九五、四〇四

**兩省の市況共同調査**

商業省並に内務省は諸商品の騰貴に對する焦眉の問題を解決すべく、全商品にわたつてこれが市況に對し共同調査を計畫中である。この調査は同時に賣惜しみを試みる筈である。

商業省はまた衣類と同一方法で食糧其他の物品を、貧困階級に適正價格を以て販賣する計畫を考慮中で既に一部は實施した。

**商業省の市價調整**

現在に於ける買價市價の不安定と動搖に對し、その原因を究むべく商業省商業情報局では新に市價調査部を設置し、同時にまた同省内國商業局でも機構の改革が行はれ、物資交流の圓滑を期すべく商店部が新設される。

**馬來四州物々交換廢止**

タイ本國とマライ四州新領土間の米と雜貨の物々交換制は新交易規定實施の結果廢止となつた。しかし四州經由のタイ向け雜貨に對するマライへの米輸出は依然物々交換を許される。

**政府貯蓄銀行事業好況**

戰時下にも拘らず政府の貯蓄銀行事業は普及しつゝある。これは貯蓄銀行各支店が日々増加しつゝあるのにも見ても明かである。また僻遠地の住民に便する爲めに、交通省郵便電信局では全國各地に支局設置を決定した。

**馬匹育成特別債券發行**

均等の支持を與へる方針である。一方政府はまた民間と共同して商會社設立を促進しつゝあるが、會社の基礎が確立の上は政府の手持株は一般に解放する方針である。

**本年度總決算細目**

タイ國佛曆二四八七年即ち本年度國家總決算は曩に人民代表議會を通過し、その收支總額に就ては本誌前號所載の通りであるが、その詳細内容、費目等の發表されたるもの左の如し。(單位バーツ)

一、一般歳入總計 一八八、三〇〇、六六五

一、一般歳出總計 一八八、三〇〇、四五七

一、投資支出 一五一、四四一、五〇二

◇一般歳入 一八八、三〇〇、六六五

總計 一八八、三〇〇、六六五

内譯

一、總理大臣官房 一九五、四〇〇

一、國防省 二、七三二、二五八

一、大藏省 一二五、〇二四、〇四〇

一、外務省 四〇、七〇〇

一、厚生省 四八五、九三三

一、工業省 六、六九四、三〇〇

一、農業省 五、五七〇、七三〇

一、交通省 三二、七二九、九九三

一、商業省 七七七、一一〇

一、内務省 一一、九四六、四六四

一、司法部 二、〇三六、三〇〇

一、文部省 一、〇七七、一三八

一、議會書記官長室 三〇〇

◇一般歳出 一八八、三〇〇、四五七

總計 一八八、三〇〇、四五七

内譯

一、王室費 四一四、二〇〇

一、國債費 四八六、〇九五

一、營繕費 九、五六五、五八五

一、官廳々舎新築、修繕費 一、二一一、八六六

一、豫備金 九、四四八、三六四

一、總理大臣官房 二、八二八、二二七

一、國防省 四七、二三六、一六七

一、大藏省 二、三三、八五八、六六三

一、外務省 二、八二四、八二二

一、厚生省 五、五九九、六六五

一、工業省 一、〇四六、四三二

一、農業省 八、三〇六、八四〇

一、運輸省 一九、七七〇、九一六

一、商業省 八三七、九五八

一、内務省 三二、〇二六、七三三

一、司法部 二、三六三、四七七

一、文部省 一九、八五八、三九三

一、宮内事務局 六三三、〇四一

一、宮中秘書府 七五、四九二

一、議會書記官長室 七七〇、八二一

一、宮内官府 一八、〇〇〇

一、國民文化院 二二〇、〇〇〇

◇投資支出 一五一、四四一、五〇二

總計 一五一、四四一、五〇二

内譯

一、國防費 一一三、四八五、三三三

一、石油購入費 一、一四四、〇〇〇

一、同管理費 五、一九六

一、馬匹育成費 一〇〇、〇〇〇

一、色刷印刷機購入費 二〇六、四七八

一、葉書印刷紙印刷機 一〇四、九六〇

一、王室財産改良費 一〇〇、〇〇〇

一、タイ工業振興會社出資株 八〇〇、〇〇〇

一、國債償還及利息子六、五四八、九九〇

一、浮浪者管理費 五〇三、〇五二

一、食肉畜乳會社 九九九、五五二

一、プラカノング村に於ける土地購入費 一八〇、〇〇〇

一、タイ織物會社 一二五、〇〇〇

一、家内織維工業獎勵費二四五、〇二〇

一、機械獎勵費 二二二、二二〇

一、棉作獎勵費 四八、五六〇

一、農業獎勵費 一九二、七三〇

一、官營灌溉及地方灌溉事業 四、二一四、一五〇

一、共同組合擴張費 五八、〇〇〇

一、觀光事業費 一六、五〇〇

一、運輸擴張費 二、二六八、二八八

一、郵便電話 一、七五五、一三六

一、國道建設及同豫備金 八、三五一、九〇〇

一、鐵道 四、二六一、五七〇

一、タイ製造販賣會社株式購入費

一、共同住宅計畫資金 一九、一二五

一、發電所 一〇、〇〇〇

一、實業教育擴張費 二八四、八〇〇

一、洪水救済資金 一、三九四、四一五

一、行政整理費 二、〇〇〇、〇〇〇

一、災害救済資金 一〇〇、〇〇〇

一、國有財産輸送費 六九五、四〇四

**兩省の市況共同調査**

商業省並に内務省は諸商品の騰貴に對する焦眉の問題を解決すべく、全商品にわたつてこれが市況に對し共同調査を計畫中である。この調査は同時に賣惜しみを試みる筈である。

商業省はまた衣類と同一方法で食糧其他の物品を、貧困階級に適正價格を以て販賣する計畫を考慮中で既に一部は實施した。

現在に於ける賣買市價の不安定と動搖に對し、その原因を究むべく商業省商業情報局では新に市價調査部を設置し、同時にまた同省内國商業局でも機構の改革が行はれ、物資交流の圓滑を期すべく商店部が新設される。

**馬來四州物々交換廢止**

タイ本國とマライ四州新領土間の米と雜貨の物々交換制は新交易規定實施の結果廢止となつた。しかし四州經由のタイ向け雜貨に對するマライへの米輸出は依然物々交換を許される。

**政府貯蓄銀行事業好況**

戰時下にも拘らず政府の貯蓄銀行事業は普及しつゝある。これは貯蓄銀行各支店が日々増加しつゝあるのにも見ても明かである。また僻遠地の住民に便する爲めに、交通省郵便電信局では全國各地に支局設置を決定した。

**商業省の市價調整**

**馬匹育成特別債券發行**

馬四育政獎勵特別債券の發行が債券局と國防省との共同で計畫されてゐる。債券發行總數四〇萬枚。二パーツ券と一パーツ券の二種類があり、當選券は八二七枚、一等は一萬五千パーツで、他にまた數種の慰安賞金も許けられてゐる。債券を賣捌く各店舗に對しても亦特別報酬金が供與される。

### 煙草値上げ

大藏省收稅局では紙巻及び普通煙草の値上げを發表した。これによる新定價左の如し。

ゴールド・フレック  
二十本入 三パーツ  
特ゴールド・フレック  
プラトニーチャイ 十本入 一パーツ  
ナシヨナルデイ 二十本入 二パーツ  
ムーン 二十本入 一・五パーツ  
パットルゴング 一包 五〇サタン  
レッドブルー・アンド・キヤット 一包 六〇サタン

スリーギース 三〇サタン  
ラーエムトンク 二〇サタン  
バージニア 一・五パーツ  
コーサパン 一・五パーツ

### 泰國銀行純益金

泰國銀行十二月三十一日現在純益金は二十萬パーツである。

### 新會社登記

四月第一週の官報を以て左の三新設會社の登記が發表された。

ハーセング・タイ株式會社食糧及び織物の販賣會社で、資本金一八萬パーツ一株五〇〇パーツツム三六〇株である又ゴ・ヘング株式會社、コウイット株式會社  
いづれも資本金一〇萬パーツで、前者は織物、自動車部分品販賣、後者は仲買代理業の會社である。

## 通交・業産

三四

### 本年度タイ米豫想

タイ國農業省農務局長ナイ・シー・カセツト・ローチャイ氏の言によれば、本年度のタイ米の商況は幾分不振を免れないだらうといふ。尙ほ氏の言によれば、これが主因は輸送難と一昨年の大洪水による米作被害の結果である。同年の洪水はタイ米を荒廢に歸せしめ、各種類の種子を通じて、少くとも三、四年経たなければ恢復覺束なく、以前のタイ米の廉價を取戻せないほど品位を落された。しかしこの比較的短時間に最良質の種子を得るといふことは、農民にとって一福音でもあるし、更に以前よりも良質の種子を得る見込みさへ立つてゐる。

本年度の米作收穫豫想は國內諸地方の中間報告を綜合してみても未だ斷定は出来ないが、全體的には良好ではないかと見られてゐる。但し北部地方と南部地方では、降雨多量のため收穫豫想高を下廻るものと見られてゐる。一方輸送難は益

々増大する一方で、このため米穀市況を幾分、鈍化せしめるであらうと。

### 灌漑事業進捗

タイの灌漑事業は戰時下に拘らず非常なる進捗を示し、灌漑局は政府事業のほかに民間企業者に對しても補助金を交付しつゝあるが、最近には五十五萬パーツの補助金を數地方に與へてゐるが、個人企業者に對しては資金、勞力を合算して既に數百萬パーツを投じてゐる。

### 棉花栽培五ヶ年計畫

政府は今回棉花栽培五ヶ年計畫を決定したが、この計畫が立案されたのは昨年であつたが、愈々實施の曉には、現在の棉價が持續される限り、毎年この重要物資の飛躍的増産が豫期される。されば現在紡績、織布に對する國內需要に完全に應ずることが出来るが、織布の生産が民需を満足させることが出来るか否かは疑問である。何故ならば民需の織布類はその種類が甚だ多いからであつて、これは工場

の規模と數の問題である。故に政府としては現在この方面に重點を置いてゐる。

### 大紡績工場新設

ノンカイ地方よりの通信によれば、ウイアングチャンに一大紡績工場が新設されつゝある。同會社の資本は佛印政府と民間個人の共同出資を以て死てられる。同工場で操業が開始されるに至れば、多量の棉花が吸收されるのを見越して、同地の棉花は天井知らずの暴騰を見つゝある。またこの報がノンカイ縣全體に擴がるや棉價は俄然奔騰の新記録を出し、一ヘーブ（一ピクル）百十パーツにも及んでゐる。この形勢に順應して、棉作への諷向者が續出の形勢である。

### 莫大小工業企業

莫大小製造工業の新規企業計畫が目下熟しつゝある。これは商業副大臣ナイ・マハイサワン・ソンプツシリー氏が先頃日本の工業視察に赴いた結果、同氏によつて提案されたものであるが、同工業

が今日までタイ國內で實現しなかつた理由は歸する所設備と資材によるもので、資材の不足は即ち同國の綿糸の生産高が僅少なるが故であつた。

### 煙草増産計畫

官營煙草工場を管理する大藏省收稅局では國産ヴァージニア煙草の品質改良と増産目ざす栽培地擴張案を決定した。これに伴うて同局では、農業大學に學者中から選抜して煙草技術者養成に着手すべく、すでに三〇〇、〇〇〇餘の補助金を設定した。右の資金の内から正課の傍らこれを研究する學生に對する奨學金として、三年間以上に亘り毎年支給する。收稅當局と文部省大學局と協議の結果、在學生の三十名が煙草栽培の近代科學技術の習得を受け、三年間を限つて大學からこれに振向けられるであらう、養成は來年から開始される。この煙草栽培技術者の養成と耕地の増強と相俟つて將來國産煙草の大増産と品質向上とが期待される。

### 養魚管理委員會組織

魚類の一般消費に對して不斷の補給を續け得るやう、淡水魚の鹽漬貯蔵が計畫され、その爲め淡水魚殖産事業を統制管理する委員會が國內商業局、漁業局共同で組織される。

政府が牛豚の屠殺を制限してからこれに代る食用品として魚類に對する需要が急速に激増し、その結果價格が暴騰し鮮魚が減つて補給が危険に陥つた。こゝに於て鮮魚の價格の平衡を保ち濫獲を防止するため、政府の管理委員會組織となつたものである。

これに關聯して、王室財産管理局でも稚魚分配所を新設すべく、活潑なる活動を開始してゐる。

### タイ漁業會社設立

タイ國に於ける漁業擴張政策の一として今回「タイ漁業會社」が政府によつて設立されることとなつた。この會社は深海漁業を目的とし、タイ灣で漁業を營む

一隊のトロール船を所有する。同會社は漁夫に資金を貸付け、その漁獲から代金を取立て、漁獲品の販賣權を握る組織である。

### タイヤ工場新設

官邊筋のバンコク・クロニクル記者に語つた所によれば、硬質自動車タイヤ製造工場が、近く交通省の手によつて設立されることになつた。これが建設資金として同省では一〇〇、〇〇〇バートの起債をなす豫定である。

### 三鞭酒の新醸造

戦時でもあり生産費の昂騰にも拘はらず、タイ酒造工場は減産せぬのみか、新に三鞭酒の醸造を始めらる。この國産三鞭酒は醸造工場の花形として登場し、量には限りがあるが、すでに市場にも現れて居り、酒類鑑定家の間にも好評を博してゐる。未だ生産額が少いので、市場の需要を充たすに至つてはゐないが、増産を見るのも間近かである。尙ほ同工場

加した、けれども、燃料費の値上りのため純利益は僅に七〇、六〇〇・八一

バート増加したに過ぎなかつた。

燃料暴騰のため動力用電力は一九四三年四月一日から料金の最低二段階を一時休止し、また點燈用器具動力用は十二月一日から一燈につき供給量を二一サタンから二〇サタンに減じ、多量消費者に對して減減率を多くした。これは一燈に付二五サタンから二〇サタンに減じ得ることになつた一九三九年政府との協定に基くものである。

私は戦争の影響で本年も又配當に或程度の損害を受けたことを遺憾ながら報告せざるを得ない。貸借對照表に現はれてゐる通り、二年前戦争非常豫備金が設定され、戦争に對する防備施設と損害補修の臨時費六八〇、五一六・二一バートに相當する以上の非常豫備金が計上された。

政府はこの額を積立て、更に非常豫備金總額一、二〇〇、〇〇〇バートに達せしむべく諸君に勸告するを得策とし

てゐる。

昨年諸君は均等配當豫備金五五〇、〇〇〇バートの設定を決議したが、今年更に七五〇、〇〇〇バートを加へて一三〇〇、〇〇〇バートとなさんとするものである。

經常費において消耗見積額四〇〇、〇〇〇バートが計上された。かくて今期配當一株二五〇バート、同年度合計四・五〇バートが提議され會長の報告提案は満場一致可決承認された。

### 鹽業移民團好評

二年間にわたり天候的惡條件にも拘らず、泰國共同組合局の鹽業移民製鹽事業は順調に進み非常に好成績を示してゐる。共同組合局への最近の報告によれば、數百エーカーにわたる所謂副業的鹽業擴張事業も量質共に増進されてゐる。政府からも近く技師を派遣して、援助を與へ一層その活動を促進せしめることとなつた。

三六

に於ては、生産費の増加にもかかわらず製品の値上げはしない方針であると。

### 泰電氣會社業績

第十八回タイ電氣株式會社通常總會は三月六日會長プロムヨーティ中將司會のもとに開會された。總會召集公告、第十七回株主總會議事録承認について、プロムヨーティ中將より左の如き報告があつた。

本年度の純益は三、九四一、五九五、〇七バートで、前年度の二、〇〇五、四三五・一八バートに比して増收である。この増收は主として運輸收入の増加に基くもので、この好成績によつて電車賃も運輸費の非常な増嵩にも拘らず値上げをせずに済んだ。一九四三年度における運輸收入は實に一八八九年バンコクに電車が敷設されて以來最高記録である。その他在庫品の賣却賣店の販賣高、電機据付貸収入も増加した。電力供給による収入は前年度に比して七四四、四四七・九六バート増

### 新農業移民團

最近の報告によれば、共同組合局ではウタラディットとスコタイに二箇所農業移民團を新設したが、兩移民團を通じて、十五組合、所屬組合員約八五〇名が登録された。この二新移民團の耕地面積約八〇、〇〇〇エーカーに及びその大部分は棉花栽培に當てられてゐるが、棉花收穫後は煙草、蔬菜等の栽培に耕地は轉用される。

### 自營移民團成功

サラブリーに於ける自營移民團の成功は厚生局が大成功を収めた事業の一で、この事業の進行狀況が、ラジオ、新聞を通じて頻りに報道された。この計畫を進めた政府の親心が、赤貧者に非常なる關心を喚起し、これらの赤貧者は新耕地を開拓して富裕になつた。しかし、尙ほその附近には廣大な空閑地が残つてゐるので政府はこれを棉作地として發展せしむる意向で關係當局をしてこれに従事せしむ

る管である。

尙ほ内務省でも新しい移民組織を計  
畫し近く實施の運びとなる。

### 馬車時代の再来

若し運輸局の馬車使用の計畫が實現す  
れば、二十五年前の一般交通機關だつた  
馬車が再び首都の市街に出現すること  
ならう。

運輸局では目下鐵道馬車と無軌道乗合  
馬車と短距離乗客用馬車との三種類の馬  
車を考案中で、これらの見本を上臚に提  
出した上實施されることゝならう。この  
計畫が起つたのは國內諸工場の自動車、  
タイヤー、部分品、附屬品の製産高の減  
少による交通難、運輸難を緩和する目的  
からである。

## 社・教文

### 戦時國民訓布告

政府は五月十二日アドン副總  
理の名をもつて左記十四ヶ條よ  
り成るタイ國戦時國民訓を布告  
した。右は現下非常時局に際し

- 一、生命ヨリモ國家ヲ愛ス
- 二、勇敢ナル戰士ナリ
- 三、戦友ニ敦ク
- 四、虚偽ハ飽クマデ憎惡ス
- 五、生命ヲ超越シ佛教ヲ愛ス
- 六、言心ニ偽リナシ
- 七、平和ヲ愛ス
- 八、正直ニシテ誠實ナリ
- 九、職業ニ勤勉ナリ
- 一〇、食糧ハ自給自足トス
- 一一、子孫ノ爲遺產を蓄積ス
- 一二、住居衣服ヲ嚙ム
- 一三、兒童婦人老人ヲ勉ハレ
- 一四、相互ニ協力シ指導者ニ従フ

### ウイラタム宣傳

藝術局ではウイラタム(國民道德信條)  
十四ヶ條の紙芝居の準備中で、近く移動  
展覽會式に諸地方を持廻る管である。こ  
れは目のあたり観ることによつて十四信

條の意義を國民の胸裡に透透せんめんと  
するものである。

### 文化宣傳員養成

國民文化院は文化宣傳員に三ヶ月の速  
成訓練を施しつゝある。訓練終了後は、  
これらの修業生は文化院の政策に沿ふ各  
部の文化宣傳に従事する。婦人文化院亦  
同様である。

### 新首都定礎式

タイ國の新首都候補地ベチャブリンの  
都市建設の定礎式は四月二十三日ピブ  
ン首相夫妻以下政府高官參列の下に舉行  
同市を距る二十七キロのブンナムタオ部  
落で正午から行はれた。

### 國家安泰祈願

タイ國內佛教の全僧侶を擧げて今日の  
非常時局の續く期間中、毎日國家安泰の  
祈願を捧げることになつた。

### 文化協定記念論文發表

### チュウ大学卒業生内譯

チュウ大学(ロンコン)大学の本學年卒業  
者はそれ／＼マスター・オブ・アーツ及  
びマスター・オブ・サイエンスの學士號  
を授與されたが、この卒業生中科學一〇  
名、工學七三名が含まれてゐる。

### 醫大卒業生資格授與

タイ國醫科大學では、佛曆二四八六年  
一八七七年(一九三三四年)度卒業生  
に對しそれ／＼資格を授與するに決した  
が、その數は醫師三〇名、齒科醫師六名  
藥劑師二〇名、獸醫八名である。

### 食料貯藏勸奨

ラジオ放送において、政府代言者は國  
民に食料貯藏を勤め、戦時下狐、蜘蛛の  
如き動物、昆蟲類をも食用に利用すべし  
と説いてゐる。

### 戦争遺児委員會設立

國民文化院婦人文化部では、戦死者遺

つた。戦争は何等成人教育の進行上影響  
してゐない。

### 東亞醫學者大會代表

タイ國は南京に於て開催された東亞醫  
學者大會への招請を受諾、左記三名を出  
席せしめるに決した。

- 主席委員 シリラート病院長  
ピン・ムアンメン博士
- 委員  
公衆衛生局 マノリー・ソンプン博士  
公衆衛生局 チャロン・アテイベート博士

### 兩大學支校増設

チュウ大学(ロンコン)豫科大學は目下ウ  
ドン・ターニー、ナコン・ラーチャシ  
マー、アナタヤー、チャコンサオ、ラ  
トプリー、ベチャブリンの各地に支校を  
建設中といはれる。

また文政豫科大學も數地方に支校を新  
設中である。

### 文盲百萬人を減す

最近成人教育の進歩は著しいものがあ  
る。この好成绩について、文部大臣モン  
トリー少將の語る所によれば、昨年中に  
約一百万人近くが讀書き出来るやうにな

國民文化院及びバンコクの日本文  
化會館共同主催、タイ國デイレック外相  
坪上駐泰大使後援で、昨年十月募集した  
日タイ文化協定締結記念懸賞論文は、日  
タイ兩國人同數から成る聯合委員會に於  
て審査中であつたが、成年者間の募集論  
文「タイ文化の使命」、幼年向の論文「タ  
イ民衆の希望」ともに、それ／＼入選發  
表があつた。しかし「タイ文化の使命」  
について一等五、〇〇〇パーツの標準に  
達するものがなかつたので、委員會は二  
等各二、〇〇〇パーツ三名、三等各一、  
〇〇〇パーツ三名を入選せしめた。

「タイ民衆の希望」では一等五、〇〇〇  
録にナンダサオ・ユバ・タンテイチャロ  
イン氏が當選した。外に二等各二、〇〇〇録  
二名、三等各一、〇〇〇パーツ三名である。



兒と貧窮老婦人救済について豫て考慮してゐたが、これが具體方法を講ずべく、最近新委員設立の運びとなつた。而して政府筋から開知したところに依れば、新委員委員長としてビブソン首相夫人アイアット・ビブソンクラーム中佐が任命せられ、その他宣傳局長、内務局長、國民文化院副院長以下多數が委員に任命されるといはれる。遺兒救済資金として、既に婦人文化院の受理した獻金は既に八八・一九パーセントに及んでゐるが、更に今後は巨額の寄附金が募られるものと見られる。

#### 戦争遺兒教育方針

「戦争遺兒」保育資金中の基本資金として泰國國民文化院婦人文化院に對し十萬パーセントが下附された。

同院では補助金とこの爲め新設された委員會を動員してこの事業の着手に邁進してゐる。これに關する同院の事業は三歳までの幼兒、三歳以上の兒童、更に學齡期の者の三階級に分れる。三歳以上

と以下の兒童の養育は赤十字社に一任され、その費用は文化院から支拂はれる。三歳半から初等學校學齡兒童に對しては以上記述の範疇外に置かれ、專屬の教師と保姆の養育に委せられる。文部省は中等教育に對しては自由教育を施さんとするが、同時期の遺兒に對し婦人文化院としては、衣類、食糧等にわたつて支給を續けるであらう。特に秀才に對しては大學教育を授けて、その才能の伸長に力める。「戦争遺兒養護所」では、これらの兒童を收容すべく既に改装を了した。

#### 遺兒學校完成近し

國民文化院婦人部が立案された戦争遺兒學校は近く完成される。この學校はロブリーの山岳の中腹に建設されるもので、この山の洞窟は敵機空襲に對する防空壕として利用され、約百五十名の收容力があるといはれる。

#### 戦時救恤資金累計

泰國戦時救恤資金三月合計五八、〇二

〇パーセント、これによつて同救恤金累計三、一六、〇六一パーセントに達した。

#### 結婚促進策成功

戦時にも拘らずタイ結婚促進所の事業は施策甚だ宜しきを得て好成績を挙げつゝある。その證左として、一月中に於ける政府驛旋の集團結婚による結婚者の登録数が非常に多數に上つてゐる。直接結婚促進の事業とは別個にまた新婚夫婦の福祉をはかる爲めに種々新計畫が實施されつゝある。例へば新婚者中第一番の出産者に對して、生兒の奨學金を提供した如きその一例である。一方同所によつて企畫された「配偶者選定聯盟」計畫が世の視聽を集めつゝあるが、これも至極順調に進行しつゝある。

#### 華僑タイ服制に従ふ

バンコック・トンプリー特別市實行委員チユライヤン少将は泰國中華總商會々長、各種華僑商人組合長及びその代表等の參集を求め、その屬する協會員組合

員に今後泰國の服裝に倣ひ、これに協力するやう懇望したところ、これら總商會長組合長は満場一致、心から之に協力する旨を誓つた。

#### 民刑事事件減少

タムロン法相の語る所によれば、泰國裁判所が昨年度取扱つた刑事、民事の事件数は前年度に比して減少を示した。

刑事事件は戒嚴令施行後は軍法會議の手に審理されたが、その後軍事に關係なき事件の大多數は、軍法會議の繁務を援助する意味で普通裁判所の審理に委ねられた。

統計によれば、普通裁判所で取扱つた昨佛曆二四八六年度に於ける民事事件数は七、九三九件で、前年度の八、四八四件に比して七、九三九件の減少を示した。また刑事事件の取扱数は昨年度に於て普通裁判所五九、六四九件、軍法會議一一、三四三件、前年度に於ける普通裁判所三二、九三三件、軍法會議五一八二八件に比して兩裁判所合して二二、七五

九件の減少を示した。

#### 阿片吸飲者著減

タイ國政府の國內阿片吸飲者漸減政策は、非常の好成績を擧げるに至つた。佛曆二四八五年一八六年（昭和十七年一十八年）間一年間の統計において急激なる減少が示されてゐる。前年度においてリストに上つた阿片吸飲者は實に約二六、五九〇人の多きに上つてゐたが、それが昨年一年間において約七、八〇〇人に、差引一八、七九〇人即ち七〇%激減を示したのである。

この一面國庫の阿片收入は年々増加しつゝあるのは、一見矛盾のやうであるがこれは決して政府が阿片吸飲者漸減政策を放棄したわけではなく、却つてこれが抑制策として阿片價格を吊り上げた結果増収となつたものである。

#### タイ研究協會年次總會

タイ研究協會（タイランド・レサーチ・サイエンス）年次總會は二月二十七日同

協會内に於て、會長タニーニワット殿下司會の下に開かれた。會務報告によつて總裁より三名の會員の逝去を報告し、就中タムロン親王の逝去は優秀なる會員を喪失したもので、痛惜に堪へぬと報告され、名譽會長ナコンサワン殿下の逝去、協會十五年間の書記長アトシー氏の逝去に對しても弔意が表された。つゞいて前回年次總會の議事録がモムチャオ・アチャバディット名譽書記長によつて朗讀された。

右了つて今佛曆二四八七年度における協議會役員の選舉に移り、會長ワンワイ・タヤコン殿下以下當選し、日本人役員新田實氏（前バンコック商工會議所會頭）が歸國したので、その代りとして松本氏が當選した。右選舉に引續いて、ワン・ワイ殿下から「タイの文化」と題する非常に興味ある講演があり、熱心に傾聴された。

## 日泰關係

### 坪上駐タイ大使歸朝

坪上駐泰大使は要務打合せ並びに病氣静養のため三ヶ月の豫定で四月十一日午後パーンコックから空路福岡着、同八時卅二分博多發鐵路東上した。大使はタイ國の現狀につき次の如く語つた。

日タイ兩國は軍事はもとより政治、經濟も同盟を強化益々緊密化し競争最後の目的に向つて全面的に協力してゐる。タイ國は目下全力を擧げて國內産業の振興に努めてゐるが、衣料品の生産についても原棉の増産を圖る一方、紡織紡織工業を振興し、既に紡織の如きは日タイ合辦の二工場も設置され、その他凡ゆる物資に亘つて自給自足の方途を確立しつつある。

文化向上についてはピン總理と夫人が非常に努力してをり、いはゆる新生活運動を通じて國家の品位向上に努めてゐる。特に軍事強化のため總理は從來青少年教練が文部省の指導下にあつ

たのを軍最高指揮官たるピン元帥の直轄下に置き、軍事準備教練部を設け一嚴格な訓練を實施してゐる。

また夫人は本年第一回卒業生を出した女子士官學校生を基幹とした女子聯隊を組織するため目下女子義勇軍を結成してゐるほどの熱心さである。

タイ國も空襲に備へて目下疎開を實施しつつあるが、民衆は空襲に怯えるどころが非常な敵愾心をもつて防空強化に努めてゐる。

### 兩國大使増上寺參詣

歸朝中の坪上大使とウィット泰大使は四月廿六日午前十一時芝増上寺境内、大日本佛教會に奉安の佛舍利（釋尊の遺骨）を參拜、佛前に日泰親善の誓ひをかためた。

### 大東亞醫學者大會

第三回大東亞醫學者大會は四月十五日中國の首都南京に於いて日本側卅三名を始めとして中國側廿二名、滿洲國十八名

四二

ビルマ二名、比島二名、泰國三名、佛印一名の大東亞醫學者を網羅して盛大に開催された。

### タイ留學生の宮城奉拜

盟邦タイ國から日本の航空、機械、醫學、藥學の技術を習得するためこのほど來朝したサワイ・ティロクベート君ほか十一名の「タイ國南方特別留學生」は日泰學院原田主事に引率され四月二十九日午前十一時半宮城を奉拜、ついで大東亞省を訪問、來朝の挨拶を述べた。

### 大義神社建立

バンコック駐屯部隊、在留邦人の守護神として造營された大義神社は去る二月一日の地鎮祭以來駐屯〇〇部隊將兵の奉仕によつて鋭意造營が進められてゐたがその第一回大祭は大詔奉戴日の四月八日早朝から行はれ、駐屯部隊在留邦人全員參列の下に盛大を極めた。

## 協會記事

### ○事務所移轉

本協會事務所は今回都合により舊虎ノ門霞山會館より左記に移轉した。  
東京都淀橋區下落合一丁目四三七番地  
電話 落合長崎 三三四〇番

### ○坪上駐泰大使歡迎

#### 午餐會

五月十五日（月）正午華族會館に於て、所用歸朝中のタイ國駐劄坪上大使歡迎午餐會を開き、協會役員、幹部出席し、同大使は親しく最近のタイ事情に就て語られた。

### ○役員異動

今回新に岩倉具榮公爵に本協會評議員を委嘱、快諾就任された。

### ○會員異動

左記二名通常會員として入會さる。  
小林玄勝氏（東京）日本映畫社海外局企画部長  
若命善衛氏（東京）中央社會事業協會員

### 〔大阪日泰協會記事〕

#### ○陳情二件

大阪日泰協會では去る四月、稻畑會長安住副會長、山本理事長連名の下に、左記二件に關し、それ〴〵所管青木大東亞大臣、鹽原運輸通信院總裁宛陳情書を提出した。

一、外地戰爭保險金額制限撤廢に關する陳情

一、日泰兩國間航空郵便取扱開始並に無線電話再開に關する陳情

## 公 告

本協會は上掲協會記事にもあります通り、左記に移轉しました。省線目白驛より西に約三丁、舊タイ國學生會館跡です。

東京都淀橋區下落合一丁目  
四三七番地  
電話落合長崎三三四〇番  
財團 日本タイ協會  
法人

財團法人日本夕イ協會  
總裁及役員職員

監事

工學博士門野重九郎、藤山愛一郎

評議員

井上雅二、子爵伊東二郎丸、公爵岩倉具榮、石井康、大丸徹三、侯爵細川護立、公爵德川圀順、川村博、河井彌八、加藤勝太郎、子爵加藤泰通、文學博士高橋順次郎、鶴見左吉雄、南條金雄、子爵黒田長敬、伯爵黒田清、倉田猛郎、矢田部保吉、伯爵二荒芳徳、江口定條、榎並充造、出淵勝次、安住伊三郎、佐藤市郎、櫻井兵五郎、醫學博士北島多一、子爵三島通陽、關屋貞三郎

總裁 秩父宮雅仁親王殿下  
名譽總裁 アーテイト・テイン・アー  
會 長 公爵 近衛 文麿  
名譽會長 ウイチット・ウイチットワタ  
カール

副會長 侯爵 德川 頼貞  
理事長 矢田部保吉  
業務理事 村井倉松  
同 子爵 三島 通陽

理事

子爵伊東二郎丸、男爵大倉喜七郎、岡田永太郎、川村博、常岡寛治、鶴見左吉雄、向井忠晴、柳澤健、伯爵二荒芳徳、古田俊之助、船田一雄、淺野良三、伯爵酒井忠正、醫學博士北島多一、水野伊太郎

調査部職員

遠山峻、田中正夫  
星田管五、今井泰三、江尻英太郎、西村勝比古、岡本一子  
山口武

〔非賣品〕

昭和十九年 六月二十七日印刷納本  
昭和十九年 六月三十日發行

發行所 財團 日本夕イ協會  
電話 落合長崎三三四〇  
振替口座東京一四八三一番  
出版會員番號二二二二三六

編輯人 遠山 峻  
發行兼編輯人 遠山 峻

東京都澁橋區下落合一丁目四三七番地  
印刷人 河田 保治

東京都澁橋區戸塚町一丁目二二〇番地  
印刷所 明立印刷株式會社  
(東京一〇)

郵給元 東京都神田區淡路町二ノ九  
日本出版配給株式會社

